



Kumamoto University

熊本大学概要

2016



復興の意気や溢るる
Full of Kumamoto University Spirit

熊本大学

(五高寮歌より)



熊本大学の校章は、熊本市の市木でもあり、キャンパス内にも多く植えられている「銀杏」がモチーフとなっています。



熊本大学
Kumamoto University

学内外のコミュニケーションの活発化を目的としたコミュニケーションマークは、くまもとの「く」を象っていると同時に、Kumamotoの「K」を変化させ、さらに前進していく矢印をイメージし、校旗を彩る紫紺とうこんで彩色したデザインです。伝統を尊重しながら、躍進を続ける熊本大学を象徴しています。

創造する森 挑戦する炎



本学の理念・根源的な特質を社会に広く訴えることを目的としたコミュニケーションワード

— 理 念 —

本学は、教育基本法及び学校教育法の精神に則り、総合大学として、知の創造、継承、発展に努め、知的、道徳的及び応用的能力を備えた人材を育成することにより、地域と国際社会に貢献することを目的とする。

— 目 的 —

教 育

個性ある創造的人材を育成するために、学部から大学院まで一貫した理念のもとに総合的な教育を行う。学部では、幅広く深い教養、国際的対話力、情報化への対応能力及び主体的な課題探求能力を備えた人材を育成する。

大学院では、学部教育を基盤に、人間と自然への深い洞察に基づく総合的判断力と国際的に通用する専門知識・技能とを身につけた高度専門職業人を育成する。

また、社会に開かれた大学として、生涯を通じた学習の場を積極的に提供する。

研 究

高度な学術研究の中核としての機能を高め、最先端の創造的な学術研究を積極的に推進するとともに、人類の文化遺産の豊かな継承・発展に努める。

また、総合大学の特徴を活かして、人間、社会、自然の諸科学を総合的に深化させ、学際的な研究を推進することにより、人間と環境の共生及び社会の持続可能な発展に寄与する。

地域貢献・国際貢献

地方中核都市に位置する国立大学として地域との連携を強め、地域における研究中枢的機能及び指導的人材の養成機能を果たす。世界に開かれた情報拠点として、世界に向けた学術文化の発信に努めることにより、地域の産業の振興と文化の向上に寄与する。

また、知的国際交流を積極的に推進するとともに留学生教育に努め、双方向的な国際交流の担い手の育成を目指す。

CONTENTS

1 組織		5 社会連携	
管理運営体制	1	生涯学習	34
教育研究組織等	2	包括的連携協定等	35
事務組織	4	五高記念館入館者数	35
役職員	5		
2 教育研究等		6 福利厚生施設	
学部	7	福利厚生施設	36
大学院	9		
専攻科・別科	12	7 財政	
研究所	12	平成28年度収入・支出予算額	37
機構	13	科学研究費助成事業採択状況	38
学内共同教育研究施設	14	外部資金等受入状況	38
障がい学生支援室	15	主な競争的資金採択状況	39
文書館	15		
学外オフィス	16	8 キャンパス	
寄附講座	18	土地・建物面積	41
共同研究講座	18	位置図	42
医学部附属病院	19	主要施設等配置図	43
附属図書館	20		
3 職員・学生数等		9 熊本大学ユニバーシティ・ミュージアム	
役員等数・職員数	21		46
学生・生徒・児童及び幼児数	22		
入学状況	25	10 沿革	
卒業後の状況	26	沿革略年表	48
修了後の状況	27	沿革図(別紙)	
学位授与数	28		
奨学生数	28		
4 国際交流			
国際交流協定	29		
研究者の派遣・受入れ	30		
海外派遣留学生	31		
海外語学セミナー及び協定校でのサマープログラム	32		
国際奨学事業	32		
外国人留学生	33		
国際交流会館	33		

学年暦

■ 学年開始	4月1日	■ 夏季休業	8月11日～9月30日	■ 卒業式	3月25日
■ 前学期	4月1日～9月30日	■ 後学期	10月1日～3月31日	■ 学年終了	3月31日
■ 春季休業	4月1日～4月3日	■ 開学記念日	11月1日		
■ 入学式	4月4日	■ 冬季休業	12月25日～1月10日		

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

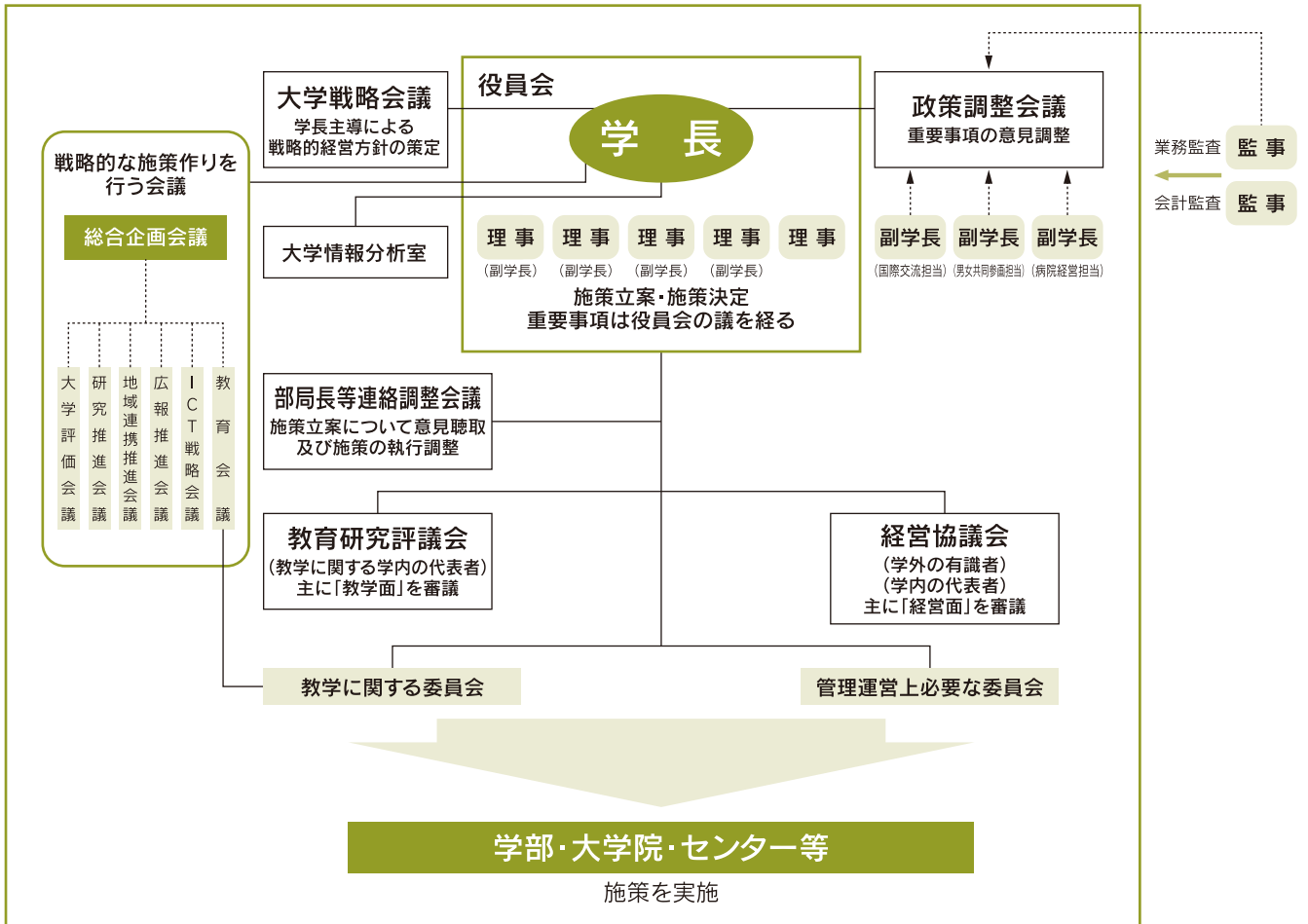
熊本大学
ユニバーシティ・ミュージアム

沿革

1 組織

管理運営体制

概念図



組織図



組織

教育研究等

職員・学生教等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

熊本大学
ユニバーシティシステム 沿革

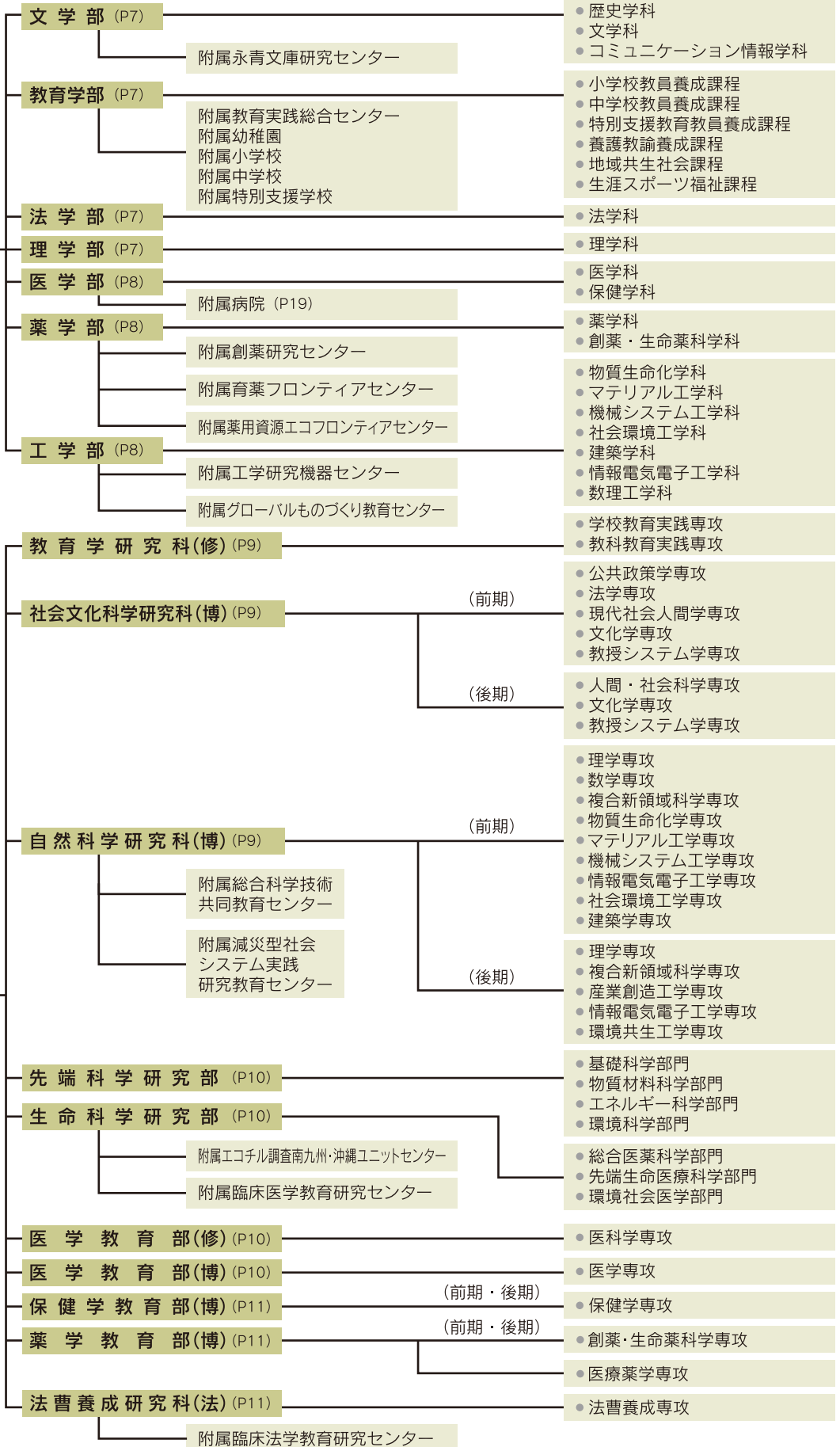
教育研究組織等

(H28.6.1現在)

熊本大学

学部

大学院

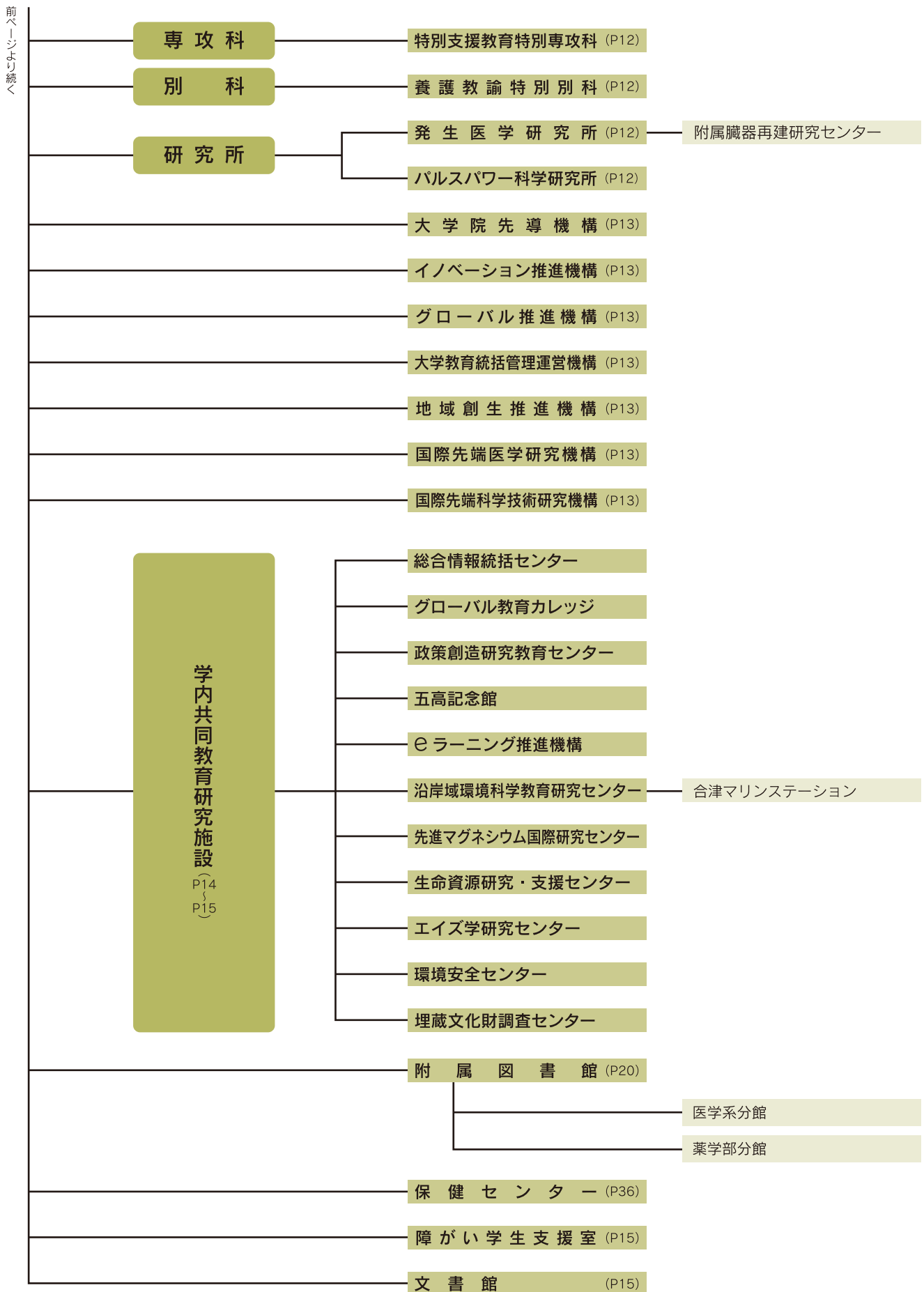


次ページへ続く

組織
教育研究等
職員・学生数等
国際交流
社会連携
福利厚生施設
財政
キャンパス
熊本大学
グローバルイニシアチブ
沿革

1 組織

教育研究組織等



組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

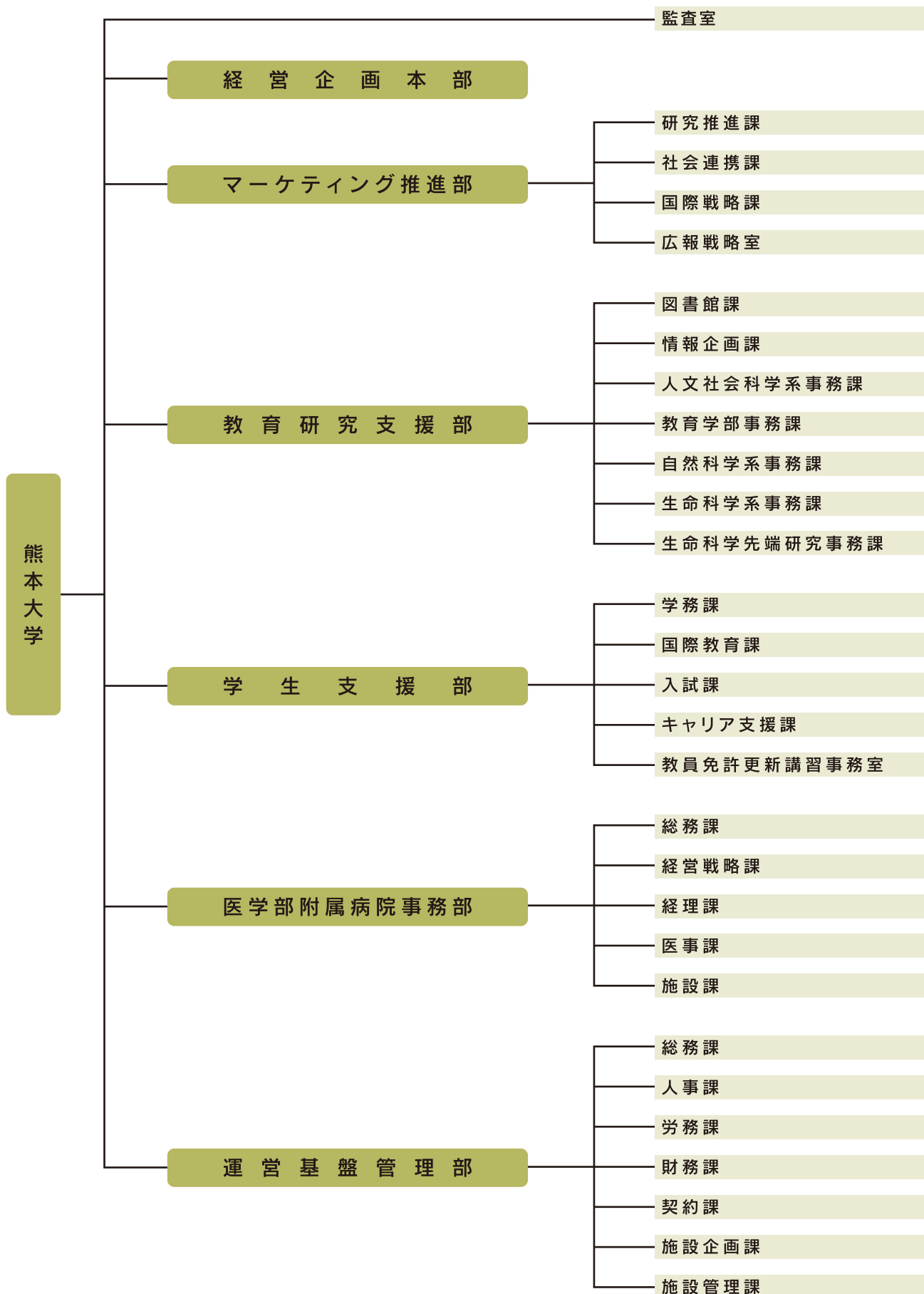
財政

キャンパス

熊本大学
ユニバーシティシステム
沿革

事務組織

(H28.4.1現在)



組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

熊本大学
コンプライアンスシステム

沿革

1 組織

役職員

役員

学長	原田 信志	
理事	教育・学生支援担当(副学長)	古島 幹雄
	研究・社会連携担当(副学長)	松本 泰道
	人事・労務担当(副学長)	山崎 広道
	目標・計画、評価担当(副学長)	竹屋 元裕
	財務・施設担当	西川 泉
監事	業務監査	浅井 裕
	会計監査(非常勤・公認会計士)	鶴田 哲三

副学長

国際交流担当	高島 和希
男女共同参画担当	山縣 ゆり子
病院経営担当(医学部附属病院長)	水田 博志

顧問

元国立大学法人 熊本大学長	崎元 達郎
元国立大学法人 熊本大学理事	小野 友道
元国立大学法人 熊本大学理事	平山 忠一
元国立大学法人 熊本大学理事	菅原 勝彦
元国立大学法人 熊本大学理事	森 光昭
元国立大学法人 熊本大学理事	田口 宏昭
元国立大学法人 熊本大学副学長	古川 憲治
前国立大学法人 熊本大学長	谷口 功
前国立大学法人 熊本大学理事	山中 至
前国立大学法人 熊本大学理事	両角 光男
前国立大学法人 熊本大学理事	安部 眞一

学長特別補佐

教育改革担当	大学院先端科学研究部	教授	磯部 博志
教育評価担当	大学教育統括管理運営機構	准教授	井上 尚夫
教養教育担当	教育学部	講師	村里 泰昭
入試担当	教育学部	教授	宮崎 誓
広報担当	法学部	教授	大日方 信春
研究担当	文学部	教授	慶田 勝彦
研究担当	大学院先端科学研究部	教授	谷 時雄
情報ガバナンス担当	大学院先端科学研究部	教授	西本 昌彦
社会貢献担当	大学院先端科学研究部	教授	中西 義孝
COC+担当	大学院先端科学研究部	教授	新留 琢郎
熊本復興力強化担当	大学院先端科学研究部	教授	柿本 竜治
研究不正防止担当	大学院生命科学研究部	准教授	門岡 康弘
国際担当	大学教育統括管理運営機構	教授	齋藤 靖
国際担当	大学院生命科学研究部	教授	宋 文杰
国際担当	大学院先端科学研究部	准教授	宗像 瑞恵
男女共同参画担当	大学院先端科学研究部	教授	岸田 光代
学長特命(IR)担当	文学部	准教授	江川 良裕
学長特命(IR)担当	大学院先端科学研究部	准教授	鯉沼 陸央
学長特命(IR)担当	総合情報統括センター	教授	中野 裕司

経営協議会

(H28.7.1現在)

学長	原田 信志	
理事	教育・学生支援担当(副学長)	古島 幹雄
	研究・社会連携担当(副学長)	松本 泰道
	人事・労務担当(副学長)	山崎 広道
	目標・計画、評価担当(副学長)	竹屋 元裕
	財務・施設担当	西川 泉
教育研究評議会等	法曹養成研究科長	松原 弘信
	理学部長	市川 聡夫
	大学院生命科学研究部長	西村 泰治
	医学部附属病院長	水田 博志
	株式会社肥後銀行代表取締役頭取 九州フィナンシャルグループ代表取締役会長 熊本経済同友会代表幹事	甲斐 隆博
	太陽光発電技術研究組合名誉顧問	桑野 幸徳
	国立大学法人名古屋大学理事	郷 通子
	熊本保健科学大学長	崎元 達郎
	くまもと新世紀株式会社(ホテル日航熊本)代表取締役会長 熊本商工会議所会頭	田川 憲生
	熊本県副知事	田嶋 徹
学外委員	日本製紙株式会社代表取締役会長	芳賀 義雄
	株式会社熊本放送(RKK)報道制作局アナウンス部長代理	福島 絵美
	熊本大学同窓会連合会会長 医療法人社団寿量会熊本機能病院顧問 NPO法人熊本高齢社会活性化研究センター長	二塚 信
	NPO法人ワークショップいふ理事長	星子 邦子
	公益財団法人永青文庫常務理事 熊本県文化協会会長	吉丸 良治

教育研究評議会

学長	原田 信志		
理事	教育・学生支援担当(副学長)	古島 幹雄	
	研究・社会連携担当(副学長)	松本 泰道	
	人事・労務担当(副学長)	山崎 広道	
	目標・計画、評価担当(副学長)	竹屋 元裕	
	財務・施設担当	西川 泉	
副学長	国際交流担当	高島 和希	
	男女共同参画担当	山縣 ゆり子	
	病院経営担当(医学部附属病院長)	水田 博志	
学部	文学部長	水元 豊文	
	教育学部長	八幡 英幸	
	法学部長	深町 公信	
	理学部長	市川 聡夫	
	工学部長	宇佐川 毅	
	大学院	社会文化科学研究科長	伊藤 洋典
		先端科学研究部長	宇佐川 毅
		自然科学研究科長	宇佐川 毅
		生命科学研究部長	西村 泰治
		医学教育部長	西村 泰治
保健学教育部長		吉永 一也	
薬学教育部長	甲斐 広文		

法曹養成研究科長	松原 弘信
附属図書館長	山尾 敏孝
発生医学研究所長	西中村 隆一
パルスパワー科学研究科長	秋山 秀典
総合情報統括センター長	杉谷 賢一
生命資源研究・支援センター長	尾池 雄一
エイズ学研究センター長	松下 修三

部局長等

学部	文学部長	水元 豊文
	附属永青文庫研究センター長	稲葉 継陽
	教育学部長	八幡 英幸
	附属教育実践総合センター長	古賀 倫嗣
	附属幼稚園長	緒方 信行
	附属小学校長	島田 秀昭
	附属中学校長	島谷 浩
	附属特別支援学校長	坂下 玲子
	法学部長	深町 公信
	理学部長	市川 聡夫
	医学部長	西村 泰治
	附属病院長	水田 博志
	薬学部長	甲斐 広文
	附属創薬研究センター長	杉本 幸彦
	附属育薬フロンティアセンター長	平田 純生
大学院	附属薬用資源エコフロンティアセンター長	渡邊 高志
	工学部長	宇佐川 毅
	附属工学研究機器センター長	町田 正人
	附属グローバルものづくり教育センター長	富村 寿夫
	教育学研究科長	八幡 英幸
	社会文化科学研究科長	伊藤 洋典
	先端科学研究部長	宇佐川 毅
	自然科学研究科長	宇佐川 毅
	附属総合科学技術共同教育センター長	岸田 光代
	附属減災型社会システム実践研究教育センター長	松田 泰治
	生命科学研究部長	西村 泰治
	附属エコチル調査南九州・沖縄ユニットセンター長	加藤 貴彦
	附属臨床医学教育研究センター長	安東 由喜雄
	医学教育部長	西村 泰治
	保健学教育部長	吉永 一也
薬学教育部長	甲斐 広文	
法曹養成研究科長	松原 弘信	
附属臨床法学教育研究センター長	松原 弘信	
発生医学研究所長	西中村 隆一	
附属臓器再建研究センター長	江良 択実	
パルスパワー科学研究科長	秋山 秀典	
大学院先導機構長	原田 信志	
イノベーション推進機構長	松本 泰道	
グローバル推進機構長	原田 信志	
大学教育統括管理運営機構長	古島 幹雄	
地域創生推進機構長	原田 信志	
国際先端医学研究機構長	須田 年生	
国際先端科学技術研究機構長	檜山 隆	
総合情報統括センター長	杉谷 賢一	

グローバル教育カレッジ長	高島 和希
政策創造研究教育センター長	松本 泰道
五高記念館長	伊東 龍一
eラーニング推進機構長	古島 幹雄
沿岸域環境科学教育研究センター長	逸見 泰久
先進マグネシウム国際研究センター長	河村 能人
生命資源研究・支援センター長	尾池 雄一
エイズ学研究センター長	松下 修三
環境安全センター長	外川 健一
埋蔵文化財調査センター長	木下 尚子
附属図書館長	山尾 敏孝
保健センター長	副島 弘文

事務部門

監査室	監査室長	田尻 邦治	
経営企画本部	経営企画本部長	大谷 智	
	課長(経営企画担当)	中村 栄作	
	課長(大学政策支援担当)	福本 哲也	
マーケティング推進部	マーケティング推進部長	柳瀬 寿	
	研究推進課長	土井 昭人	
	社会連携課長	吉本 昭彦	
	国際戦略課長	福村 竜也	
	広報戦略室長	後藤 正三	
教育研究支援部	教育研究支援部長	中村 武	
	図書館課長	澤田 敬	
	情報企画課長	森部 英俊	
	人文社会科学系事務課長	後藤 光弘	
	教育学部事務課長	久保田 英明	
	自然科学系事務課長	吉井 裕治	
	生命科学系事務課長	中村 志郎	
	生命科学先端研究事務課長	西川 毅	
	学生支援部	学生支援部長	北村 敏夫
		学務課長	磯田 信一
国際教育課長		西川 洋子	
入試課長		前迫 誠	
キャリア支援課長		日和田 伸一	
教員免許更新講習事務室長		田代 真治	
医学部附属病院事務部		事務部長	深澤 博昭
	総務課長	坂田 親信	
	経営戦略課長	松村 健史	
	経理課長	村上 博昭	
	医事課長	月岡 信隆	
運営基盤管理部	施設課長	馬場 政秀	
	総務担当部長	本村 俊孝	
	総務課長	赤岩 寛之	
	人事課長	執行 正一	
	労務課長	芹川 克朗	
	財務担当部長	前谷 嘉一	
	財務課長	増村 隆之	
	契約課長	丸山 義美	
	施設担当部長	廻 正弘	
	施設企画課長	藤崎 司	
施設管理課長	齋藤 正実		

2 教育研究等

学部

文学部

文学部は、旧制第五高等学校を前身とし、昭和24年5月に新制熊本大学法文学部法文学科として設置されました。その後、昭和54年に法文学部を分離改組し、文学部として独立しました。現在の教育・研究組織は、総合人間学科、歴史学科、文学科、コミュニケーション情報学科の4学科9教育コースを有し、毎年170名の学生を迎えています。教育スタッフはおおよそ70名で、人間・社会・文化にかかわる23の領域にわたって教育研究を行っています。

平成21年4月には「文学部附属永青文庫研究センター」が設置されました。研究事業として、永青文庫史資料群の学術的価値の解明と学界への提起、さらに学際的な新研究領域の開拓と組織の構築を目指しています。文化事業として、同史資料群の学術的・文化的価値を市民向けフォーラム、公開講座等の実施を通じて広く市民に発信するため、文化行政諸機関と連携を図っています。



独文学演習の一コマ



文学部本館とアゴラ広場

教育学部

教育学部は、明治7年5月開校の(県立)熊本師範学校等を前身としており、昭和24年5月に新制熊本大学が設置されたことに伴い、熊本大学教育学部として設置されました。

現在、教育学部には、義務教育関連の教員を養成する小学校教員養成課程、中学校教員養成課程、特別支援学校教員養成課程及び養護教諭養成課程の4つの課程と、社会教育及び福祉等の学校教育以外の指導者養成を目的とした生涯スポーツ福祉課程並びに地域共生社会課程が設置されています。

また、「附属教育実践総合センター」では、教育実習関係の指導のほか、教育相談等、教育現場の諸問題に対する対応と実践的研究を行っています。

さらに、附属幼稚園、附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校は、学部との教育・研究面での強い連携と協働により、2~4年次の教育実習指定校として、また九州地域の教育実践研究の先導的なモデル校としてその役割を果たしています。

教育学部の目的は、広い視野と深い教養を持った豊かな人間性を基盤とした教員の養成と地域社会における生涯学習等の指導者の養成であり、生涯にわたって創造的な知的探究を続ける人材を養成することを目指しています。



教育実習風景

法学部

法学部は、旧制第五高等学校を前身とし、昭和24年に新制熊本大学法文学部法文学科として設置されました。その後、昭和54年に法文学部を分離改組し、法学部として独立しました。平成15年度までは法学科と公共政策学科の2学科編成としていましたが、大学院法曹養成研究科の設置に伴い、平成16年度からは1学科(法学科)2コース制を採用し、法学と公共政策に関する基本・基礎教育を行っています。

熊本大学法学部の教育目的は、法的知識を基礎として、法的あるいは政策的に「考える力」「表現する力」「議論する力」を身につけ、現代社会に生起する具体的な問題を解決し得る基礎的能力を育成することにあります。このため1年次から4年次まで演習科目を必修として開講し、少人数で行き届いた教育を行っています。



理学部

理学部は、明治20年10月熊本に設置された第五高等中学校の理科と熊本工業専門学校の一部を母体として、昭和24年5月新制熊本大学の1学部として設置されました。

理学部の学科は理学科1学科となっています。学生は、入学後の2年間で自ら適性を見極めて、数学・物理学・化学・地球環境科学・生物学の5つのコースから自分の志望するコースを選び、3年次以降の専門課程に進みます。また、学部スタッフによるチューター制を導入し、一人一人の学生に対して教育サービスを提供しています。

理学部は基礎研究を行う一方、地域や社会のニーズに応じた研究にも積極的に取り組んでいます。卒業後は、半数以上が大学院博士前期課程に進学し、残り約半数の学生が教員・企業・官公庁といった進路に進んでいます。



電子顕微鏡で観察中の有孔虫化石



医学部

医学部は、医学士教育課程である6年制の医学科と、保健学士教育課程である4年制の保健学科により構成されています。前者の卒業生は国家試験を経て医師に、後者の卒業生は同様に看護師、保健師、助産師、診療放射線技師及び臨床検査技師になります。

現在、医学部キャンパスでは再開発が進行中で、平成18年6月に医学部附属病院中央診療棟が竣工し、その後、医学教育図書棟、西病棟および東病棟が相次いで完成しました。平成24年8月には臨床医学教育研究センターが竣工し、平成26年3月に完成した新外来診療棟は9月から運用を開始しております。新臨床医学研究棟も平成28年の竣工を目指して建設中であり、数年以内に充実した医学教育研究環境が完備されます。

医学科は、明治29年の私立熊本医学校設立以来、1万人を越す卒業生を輩出しています。医学関係の専門教育は、大学院生命科学研究部の医学系教員が担当しており、先端的な医学研究や臓器別診療の枠組みを基盤とした教育カリキュラムを構築しており、豊かなりサーチマインドを持ち人間的で意思疎通能力の高い医師を育てる教育を実施しています。また、臨床医学教育研究センターには専任教員が配置され、今後さらに、本センターを中心に医学教育の強化が図られます。

保健学科は、前身の熊本大学医療技術短期大学部（専攻科助産学特別専攻を含む）と本学教育学部特別教科（看護）教員養成課程が統合され、平成15年10月に設置されました。看護学専攻、放射線技術科学専攻および検査技術科学専攻の3専攻で構成されており、生命や人間の尊厳に基づく豊かな教養と高度な専門知識・技能を備え、チーム医療のスタッフとして地域及び国際社会に貢献できる資質の高い医療技術者、研究者、教育者を育成しています。



臨床医学教育研究センター

薬学部

薬学部では、「薬学は医薬を通して人類の健康に貢献する総合科学である」との理念のもと、医薬品の創製・生産・管理、環境・保健衛生及び薬剤師の職能等に関わる基礎知識を修得させ、生命科学を基盤とする高度な「薬学的思考力」と倫理観を備えた創造性豊かな人材を育成することを目指し、知識・技能・態度の3つの観点から最新の講義並びに基礎実習及び臨床実習を行っています。卒業後の進路は、病院・薬局薬剤師、製薬・化学企業、官公庁など多彩ですが、卒業生の多くは大学院に進学し、薬学研究者及び高度薬剤師を目指しています。

平成18年度には、薬剤師養成6年制課程として「薬学科」を設置するとともに、従来の4年制学科の特色を活かした研究者養成に特化した「創薬・生命薬科学科」を設置しました。さらに、一流の創薬研究者を養成するとともに医薬品の開発を目指す教育、研究拠点として、日本初の「創薬研究センター」を設置しました。

また、平成20年度には、育薬を推進する人材育成、薬剤師の生涯教育、職能支援及び地域医療への貢献を行う教育、研究拠点として、「育薬フロンティアセンター（模擬薬局（平成21年設置）を含む）」を設置しました。

さらに、平成22年度には、薬学部附属薬用資源エコフロンティアセンターを設置し、「薬の元になる薬用資源の啓発、教育・研究を推進する」ことを目的に、薬用植物の栽培・育種・保護、薬用植物からの有用資源の探索、海洋資源からの機能性物質の探索などの教育・研究活動を行い、その資源を社会に還元すると共に、人材育成を行っています。



薬学部A棟

工学部

工学部は明治30年旧制第五高等学校に設立されて以来、3万数千人に及び卒業生を社会に送り出し、わが国の科学技術や経済の発展に大きく寄与してきました。今や活躍の場は世界へと広がっており、海外の大学との教育研究に関する交流協定締結や海外でのフォーラム開催などを通して国際的な連携や拠点づくりに発展しています。本学部では特に問題解決能力や新規分野を開拓発展させる能力を備え、人類の福祉と文化の進展、自然との共生に寄与できる技術者、研究者の養成を目的としており、創造教育としての「ものづくり」から社会との連携を図りながら実現化する「ものづくり」にまで力を入れています。また、優秀で理数科目に特に強い興味と意欲を持つ学生を対象に少人数教育での特別プログラムが用意されており、科学技術分野において国際的視野を持つ技術者、研究者の育成にも力を入れています。企業からの求人、採用状況はたいへん良好ですが、多くの学生はより高度の専門知識やスキルを修得するため、大学院（博士前期課程）に進学しています。さらに、ものづくり教育を支える「ものづくり工房とまちなか工房」、高度な分析機器を備えた「工学研究機器センター」、先端加工機械を導入した「中央工場」などを有し、教育、研究に必要な施設や設備も充実しています。



曾木の滝分水路（2012年グッドデザイン・サステナブルデザイン賞受賞）



ものづくりワークショップ（グローバルものづくり教育センター）

2 教育研究等

大学院

教育学研究科(修士課程)

教育学研究科は、修士課程の大学院研究科として昭和61年4月に設置され、平成21年4月から、学校教育実践専攻(学校教育[教育学・心理学]、特別支援教育、養護教育の各専修)、教科教育実践専攻(言語系教育[国語教育・英語教育]、理数系教育[数学教育・理科教育]、社会系教育[社会科教育]、生活系教育[技術教育・家政教育]、芸術・スポーツ系教育[音楽教育・美術教育・保健体育]の各専修)の2専攻で構成される新しい組織となりました。

本研究科は、教員として必要な資質能力を向上させることを目的として、学部からの進学者だけでなく、現職教員も受け入れ、教育実践に関する総合的な教育と研究を行っています。なお、教育学研究科を修了した方には修士(教育学)の学位が授与され、教員専修免許状も取得できます。



社会文化科学研究科(博士前期課程、博士後期課程)

社会文化科学研究科は、平成14年4月に文学部・法学部の専門領域の上に学際的・総合的な独立研究科として後期3年博士課程が設置され、平成18年4月にはeラーニング専門家の育成を目指した教授システム学(修士課程)が新設されました。また、平成20年4月からは、これまでの社会文化科学研究科と文学研究科(修士課程)、法学研究科(修士課程)を再編統合し、博士前期課程と博士後期課程より構成される新しい組織となりました。

博士前期課程には、従来型の研究コース(8コース)と教授システム学に加え、新しく、公共政策、交渉紛争解決、東アジア・ビジネス・コミュニケーション、文化行政・学芸員、英語教育等の専門職コース(7コース)が設置され、広く社会的ニーズに応える教育を実現します。

博士後期課程では高度専門職業人と研究者の養成を目指し、人間文化の諸側面の研究及び現代にふさわしい文化政策形成を目指す「文化学専攻」と、新しい社会システムの構築・政策研究及びその理論的基礎付けを目指す「人間・社会科学専攻」、また「教授システム学専攻」の3つの専攻が置かれ、博士前期課程からの進学者だけでなく、社会人、留学生にも門戸を開いています。



自然科学研究科(博士前期課程、博士後期課程)

自然科学研究科は、平成18年度から理学部と工学部の全教員が自然科学研究科に所属する大学院重点化と一元化の改組を行い、研究を主軸に据えた教育を行う研究大学院としてスタートしました。学部との連続性により理学と工学の専門性をより深く研究教育する専攻(前期課程8専攻と後期課程4専攻)と先端的複合・融合新領域を研究教育する専攻(前・後期課程の複合新領域科学専攻)から成っています。

本研究科では、理学と工学の先端融合の理念のもとに、自ら課題を探索・抽出し、その課題を自ら解析、解決でき、しかも国際的に強いリーダーシップを発揮できる人材の育成を目的としています。平成19年度に採択された文部科学省の大学院教育改革支援プログラム「大学院科学技術教育の全面英語化計画」と平成21年度に採択された「イノベーション創出のための大学院教養教育」の成果を踏まえ、総合科学技術共同教育センター(GJEC)では、学生の海外派遣、英語教育を積極的に推進しています。GJECの活動の一環として、平成20年に開始した学生国際会議(ICAST)は、平成27年9月のインドネシア開催で10回を数え、これまで自然科学研究科の学生が多くの交流協定先の学生とともに会議を運営してきました。さらに、平成22年度には地下水環境リーダー育成国際共同教育拠点(GeIK)が採択されるなど、国際的教育研究拠点の構築も着々と進んでいるところです。



2014年12月フランスで開催された学生国際会議ICAST



学生国際会議ICASTにおけるポスターセッション

先端科学研究部

大学院の重点化の流れの中で、生命科学研究部に続き、平成28年4月に大学院自然科学研究科が改組され、教員組織である「先端科学研究部」が発足しました。研究部は、組織運営を担当し、大学院教育については「自然科学研究科」が担当する形に生まれ変わりました。

先端科学研究部は、「基礎科学」「物質材料科学」「エネルギー科学」「環境科学」の4部門からなる研究組織で、各部門には合計36の分野を置いています。研究部として、地球環境共生と活力ある社会の持続的発展に貢献する自然系先端科学とその応用技術の高度な学術研究拠点の創成を目指し、理学系及び工学系の連携・協力により、独創的かつ先導的な学術研究と社会的要請に応える応用研究を推進し、科学技術の総合的な深化と新たな科学技術の創成、並びに大学院の個性化を達成することを目的に活動を進めたところです。

生命科学研究部

大学院の重点化に伴って、平成15年4月に従来の医学部(医学科)と薬学部が一体化し、教員組織である「医学薬学研究部」が発足しました。研究部は、研究推進、教員人事や組織運営を主な任務とし、大学院教育を担当する部局として「医学教育部」及び「薬学教育部」が設置され、「医学部」及び「薬学部」は学部教育を担当する部局になりました。平成22年1月には、研究部に医学部保健学科教員が加わり、「生命科学研究部」として改組されました。

生命科学研究部は、3部門15講座75研究分野からなる日本最大級の研究に特化した生命科学系教員組織です。「総合医薬科学部門」では、医学・薬学分野の基盤的な学問体系の深化を目指した研究を、「先端生命医療科学部門」では移植医療や分子創薬などの生命科学分野の先端的研究を、「環境社会医学部門」では、“医学・薬学と社会”並びに“疾病と環境”の関わりを科学的に究明するとともに、生命倫理に関する先導的研究を推進しています。生命科学研究部は、生命と医療に関する研究と教育を通じて、人類の健康と福祉に貢献することを使命としています。



基礎医学研究棟

医学教育部(修士課程、博士課程)

医学教育部は、平成15年4月、医学研究者・教育者ならびに高度医療人を育成するための、大学院教育に特化した組織として設置されました。医学教育部は、4年制の博士課程と、平成14年度に開設した2年制の修士課程により構成されています。修士課程(医科学専攻)は、医学・生命科学分野の人材育成に対する社会的要請に対処するものであり、4年制大学等の卒業生を対象としており、各学年20名、総計40名が学べ、修了後には博士課程への進学を奨励しています。博士課程では各学年88名、総計352名が学べます。平成20年4月から、先進的な医療人の育成をもめざして、従来の4専攻を「医学」の1専攻に改め、カリキュラムも大幅に改良しました。講義科目、研究の実践に加え、エイズ、がん、代謝・循環情報医学と発生・再生医学の教育コースを設け、セミナー、医学実験講座や臨床実習を含む多彩な教育により30単位を習得し、国際学術誌に受理された研究論文と総合的かつ論理的な学位論文の完成をもって、課程修了としています。さらに文部科学省の支援を受けて、基礎研究医師を養成するために高校・大学・大学院で一貫教育を行う柴三郎プログラムや、行政・産業界と連携してグローバルな健康生命科学パイオニアとしてのリーダー育成を目指す、博士課程教育リーディングプログラムに採択されたHIGOプログラムなど、多彩な人材の育成を実施しています。生命科学研究部、医学部附属病院、保健センター、発生医学研究所、生命資源研究・支援センター、エイズ学研究センター、国際先端医学研究機構(IRCMS)及び学外連携研究組織の約90の研究分野や診療部などに所属する教員が、教育を担当します。



医学教育図書棟、医学総合研究棟

2 教育研究等

大学院

保健学教育部(博士前期課程、博士後期課程)

保健学教育部保健学専攻は、平成20年4月に看護学分野、医用放射線科学分野、検査技術科学分野の3分野を備えた大学院修士課程として設置され、平成22年4月には新たに博士後期課程の設置に伴い、修士課程は博士前期課程となりました。

博士前期課程では、保健・医療・福祉領域における実践的指導者(高度専門職業人)及び研究者・教育者の養成を目的として、一般学生ならびに医療現場の社会人でも学びやすい教育プログラムを編成しています。募集人員は16名で、修了後は修士(保健学)または修士(看護学)の学位が取得できます。博士後期課程は、医療技術科学系教育コースと看護学系教育コースがあり、博士前期課程で培った実践・研究能力を基盤に、保健・医療・福祉分野における学問体系の確立と技術の開発、医療状況の変革を推進する自立的・学際的・独創的な研究能力を兼備した高度医療専門職業人及び研究者・教育者を養成します。募集人員は6名で、修了後は博士(保健学)または博士(看護学)の学位が取得できます。



保健学教育部

薬学教育部(博士前期課程、博士後期課程、博士課程)

薬学部にて4年制と6年制の学士課程が併設されたことに合わせ、大学院教育組織である薬学教育部も改組されました。4年制学士課程を基礎とする大学院として創薬・生命薬科学専攻の博士前期課程が平成22年4月に、同専攻の博士後期課程が平成24年4月に設置され、また6年制学士課程を基礎とする大学院として医療薬学専攻の博士課程が平成24年4月に設置されています。創薬・生命薬科学専攻では、創薬マインドに基づいて卓越した研究能力を発揮し、先端的研究や医薬品開発の場で指導能力を発揮できる人材を養成します。医療薬学専攻では、薬学・生命科学の幅広い知識と深い思考力を備え、高い研究志向と問題解決能力を有する高度医療専門職業人・研究者・教育者を養成します。本教育部では、生命科学研究所に加えて発生医学研究所、生命資源研究・支援センター、医学部附属病院等の教員が教育にあたり、異分野教員の連携に基づいた特色ある教育プログラムを用意しています。

平成24年度から、文部科学省博士課程教育リーディングプログラム複合領域型(生命健康)「グローバルな健康生命科学パイオニアとしてのリーダー」を養成する大学院教育プログラム(HIGOプログラム)を、医学教育部とともに実施し、九州・アジアの社会的ニーズを理解し、地域と世界を結びつけて、諸課題の解決に挑戦できるグローバルな健康生命科学パイオニアとしてのリーダーの養成を行っています。



(大江)総合研究棟

法曹養成研究科(法科大学院の課程)

法曹養成研究科は、地域特有の法的ニーズに応えると同時に、グローバルな法的諸問題を解決する能力をもつ、21世紀を担う法曹の養成を目的として、平成16年4月に設置されました。学生定員は16名(2年短縮コース若干名を含む)、専任教員18名(うち実務家教員4名)です。法学教育、司法試験、司法修習というプロセスとしての法曹養成を重視して、授業科目を「法律基本科目群」、「法律実務基礎科目群」、「基礎法学・隣接科目群」、「展開・先端科目群」の4大科目群に分け、段階的・系統的なカリキュラムを編成し、理論と実務を架橋する実践的教育、新しい法的ニーズにも対応する特色ある教育を行っています。

また、臨床法学の教育と研究を専門的に担う臨床部門として、「附属臨床法学教育研究センター」を設置しています。本センターは、法律問題をより身近にかつ実践的に学ぶ場として、全学教育棟F棟4階に設置されています。同センターは、リーガル・クリニックなど学生の臨床教育や教員の実務研修を行っているほか、大学の地域貢献を目的として県内各地で無料法律相談を行っています。

なお、本研究科は平成28年度以降の学生募集を停止しましたが、在学生と法務学修生に対する法曹養成教育には、今後も力を入れていきます。



専攻科・別科

特別支援教育特別専攻科

特別支援教育特別専攻科は、現職教員や他分野の教員免許状を持つ、本学及び他大学卒業生を対象に、特別支援教育に関する専門的な知識を有する人材の養成を目的としています。

特別支援学校教諭の一種免許状取得コース及び専修免許状取得コースがあります。



養護教諭特別別科

養護教諭特別別科は、看護師の免許を取得している者や取得見込みの者を対象に、資質の優れた養護教諭を養成することを目的としています。カリキュラムは教養教育科目・養護専門科目・教職専門科目で構成され、修了時に養護教諭一種免許状が取得できます。



研究所

発生医学研究所

発生医学研究所は、昭和14年に設置された体質医学研究所を原点にして、昭和59年に遺伝医学研究施設、平成4年に遺伝発生医学研究施設を経て、平成12年に発生学と医学を融合する発生医学の研究教育を推進する目的で、前身の発生医学研究センターが設立されました。平成21年に発生医学研究所に改組拡充し、平成22年に発生医学分野の共同利用・共同研究拠点に認定されました。平成24年に附属臓器再建研究センターを設置して、臨床応用を目指した体制を整備しました。

これまで、文部科学省の21世紀COEプログラム「細胞系譜制御研究教育ユニットの構築」(平成14～18年度)、グローバルCOEプログラム「細胞系譜制御研究の国際的人材育成ユニット」(平成19～23年度)、さらに、平成24年度から博士課程教育リーディングプログラム「グローバルな健康生命科学パイオニア養成プログラムHIGO」において、本研究所はその中核組織としての役割を担っています。

本研究所は、発生学の視点から生命科学領域の国際水準の研究教育を推進することを組織目標とし、発生医学の先端的研究、恒常的視野に立った人材育成、国内外の連携ネットワークを強化した国際研究教育拠点として社会的な役割を果たすことを基本理念としています。



パルスパワー科学研究所

パルスパワーは瞬間的なエネルギーであり、電気エネルギー、化学エネルギー、機械エネルギー、光エネルギー等を時間的に圧縮することにより、大きな電力や仕事率などが得られます。このようなパルスパワーの大きさは、九州、日本、或いは世界での消費電力に相当するほど巨大です。パルスパワー科学研究所では、安全・安心な社会の実現、環境保全・循環型社会の実現、高度医療・福祉社会の実現など、国際社会が抱える諸問題の解決のために、パルスパワー科学技術とその関連分野の基礎研究と新しい学理の構築を行い、パルスパワー科学技術の視点から諸問題の解決に取り組みます。本研究所は、日本の大学で唯一の総合的な「爆発実験施設」、国内で唯一の「バイオエレクトリクス総合研究施設」、世界トップレベルで多様な「パルスパワー基盤設備」、本学で開発された世界初の「超重力発生設備」など、世界最高レベルの施設や設備を有しており、他大学や企業の研究者にこれらの施設・設備を提供し、パルスパワー科学技術関連分野を広く展開しております。

本研究所の沿革は、昭和46年設立の工学部附属衝撃エネルギー実験所に始まり、平成11年に極低温装置室を持つ衝撃・極限環境研究センター、平成19年にバイオエレクトリクス研究センターが設立され、二つのセンターと大学院自然科学研究科からの関係研究者を加えて、平成25年4月1日に研究所が設立されました。



2 教育研究等

機 構

大学院先導機構

本学は、優れた研究環境を確保し学術研究を推進することにより、国際社会及び地域社会に貢献しうる存在感ある総合大学の構築を目指しています。そのために、大学院先導機構では、基礎科学と応用科学の有機的連携のもと、生命科学、自然科学、人文社会科学及び学際・複合・新領域の学問領域で最も力のある分野において先導的研究を重点化し、国際競争力のある研究拠点の形成を推進しています。

また、それを通じて、新しいCOE、新研究センター、新大学院専攻等を創出し、もって本学の教育研究活動の充実発展及び変革に寄与することを目指しています。

イノベーション推進機構

イノベーション推進機構は、本学の知的・人的・物的資源を最大限に活用し、イノベーション創出のための産学官連携を積極的に推進し、国際的に優れた特許を生み出し、国際競争力につながる知的財産の活用を図るとともに、地域における技術開発・技術教育の振興、ベンチャー企業の起業支援並びにこれらに係る高度な人材の育成を目的としています。

グローバル推進機構

本学は、平成26年度文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」の採択を受け、我が国の大学改革を牽引する先導的モデルとして、国内外でリーダーシップを発揮するグローバル人材の育成や地域社会のグローバル化に向けた取組を積極的に推進しています。

グローバル推進機構は、本学のグローバル化に向けて全学的に取り組む組織体として、平成27年3月1日に設置されました。

大学教育統括管理運営機構

従来の大学教育機能開発総合研究センターおよび教養教育機構を廃止し、全学共通教育における教育の質を統括管理するガバナンスの高い組織として平成28年6月1日に設置されました。変容する入試制度とそのような中で入学してくる多様な学生に対応し、膨大な教学データの分析を基に大学のビジョンと戦略から共通教育を構築し、統括管理運営する教育の中核組織です。

地域創生推進機構

本学は平成26年度より、文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」に採択されました。これを受け、市民、企業、行政などと協力して、地域志向の教育・研究・社会貢献を組織的に進めていきます。熊本県全域を対象に、地域課題別に4つの地域を拠点化し、これまでの熊本県や包括連携協定を締結した市町村、企業等との取組実績を生かして、地域の課題に対応しながら熊本地域のCenter of Communityとして、全学的に「活力ある地域社会を共に創る火の国人材育成」拠点の形成に取り組みます。

国際先端医学研究機構

国際先端医学研究機構は、本学の生命科学分野における国際的レベルの研究力強化と国際共同研究を推進させることを目的として平成27年4月に発足した組織です。

本機構では生命科学系の部局と連携し、国際的レベルの先端研究の実施、海外の卓越した研究機関との国際共同研究の推進、国際的に活躍できる若手研究人材の発掘・育成を行い、「海外から見える研究組織」となることを目指します。

これらを達成するために、本機構では博士課程の大学院生を含めた研究者の外国人比率が50%になることを目標として、欧米の一流研究機関と同等の研究環境を整備することにより国際共同研究を円滑に行うことができる環境を作っています。

また、本機構に所属する教員・研究者が使用する国際先端医学研究拠点施設では、英語を公用語として使用するとともにオープンラボシステムを取り入れ、様々な分野の研究者のコミュニケーションが取りやすい環境とすることで、複数研究分野の融合研究の創生を促進しています。

国際先端科学技術研究機構

本機構は、本学の自然科学分野の国際的な研究力の向上を図ることを目的として平成28年4月に設置されました。本機構では、本学自然科学分野の研究組織を戦略的に統括し、国際先端研究の実施、国際共同研究の推進、自然科学系研究拠点の育成及び再構築、テニュアトラックを基本とする人事制度のもと先導的若手人材の発掘育成を行います。併せて、世界トップクラスの研究機関とも連携し、世界一線級の特徴的な研究の伸長と新たな領域の先鋭化、更に部局の枠を超えた融合研究を推進します。また「国際共同研究員制度」を新設し、若手人材の強化を図るとともに、研究指導面においても機構内での英語公用語化、オープンラボでの大学院生を含む若手研究者の国際共同研究への参画など、国際通用性の高い研究指導を提供します。

学内共同教育研究施設

総合情報統括センター

全学の情報通信ネットワークを有機的に結合した情報基盤の中核組織です。ICTに関連した実践的研究を行うと同時に、ICT戦略会議で決定された本学のICT関連施策を実施しています。また、情報教育・研究用の実習室を全学的に配備し、全学共通基礎科目である「情報基礎」等を実施担当しています。

グローバル教育カレッジ

グローバル教育カレッジは、熊本大学のグローバル化を強力に推進することを目的として、平成27年3月1日に設立されたグローバル推進機構の中核組織です。

英語による教養・リベラルアーツ科目を提供する「グローバル人材教育センター」、世界に日本を伝え広める人材を育成する「日本語・日本文化教育センター」、地域にグローバルな学びの場を提供する「オープン教育センター」の3つのセンターで構成しています。

政策創造研究教育センター

政策創造研究教育センターは、熊本大学が有する知的・人的・物的資源を利用して、地域社会の課題解決に向けた研究や政策提言を行うシンクタンク機能を発揮するとともに、さらに地域社会を担う人材の育成という生涯学習機能を果たすことで、良き地域社会の形成に貢献することを目指しています。また、地域創生推進機構と連携し、地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)の推進にも積極的に取り組みます。

五高記念館

五高記念館は旧制第五高等学校の本館及び隣接する化学実験場を活用した大学博物館です。建物は国の重要文化財指定を受けています。本館の内部は旧制第五高等学校に関するさまざまな資料を展示するとともに、講演会や講座、体験学習会、コンサートなども実施しています。平成22年12月には、博物館相当施設の指定を受け、学芸員養成課程の博物館実習の受け入れや、博物館に関するレファレンスサービスも行っており、本学における生涯学習の拠点施設の一つとなっています。

eラーニング推進機構

eラーニング推進機構は、熊本大学におけるeラーニング推進・支援体制の確立を目指し、様々な活動を展開しています。

eラーニングコンテンツの開発と開発支援を行うため、「eラーニング全般に関するサポート窓口の一本化」、「全学的視野に立ったプロジェクトタイプの効率的開発」、「インストラクショナルデザインに基づく教育効果の高い教材開発」、「評価、表彰、著作権・使用権、管理・システム連携」に重点を置き、全学的な強い連携体制のもとで推進しています。

沿岸域環境科学教育研究センター

平成13年4月、学内共同教育研究施設として発足した沿岸域環境科学教育研究センターは、日本最大級の干潟と高い閉鎖性海域で知られる有明海・八代海を中心とする沿岸域の自然・社会環境に関する基礎科学、応用科学などの幅広い研究を行い、地域社会へ貢献することを目指しています。すなわち、干潟沿岸域の生物多様性や生態系の解明、持続可能な水産資源の保全・開発、沿岸域の水圏・地圏・生態系の相互関係の解明、自然調和型の沿岸域の保全・利用・防災などの教育研究を実施しており、得られた成果を社会に還元して、より良い地域環境を保全し創成するための教育研究を行っています。海洋施設として、天草に合津マリンステーションを持っており、学内外の学生の臨海実習をはじめとする環境教育などにも広く貢献しています。なお、同施設は、平成25年8月に文部科学省により、「有明海・八代海の干潟・浅海域の生物との実体験を通して学ぶ」教育関係共同利用拠点に認定されました。

本センターは、国や県、地域の自治体・研究機関・企業、地域住民などと密接に連携することによって、地域における沿岸環境科学の中心として機能させるとともに、アジア地域の沿岸環境科学の最先端研究ネットワークの拠点としての国際化を目指しています。

2 教育研究等

学内共同教育研究施設

先進マグネシウム国際研究センター

平成23年12月に設置された先進マグネシウム国際研究センターには、世界トップクラスのマグネシウム合金専用の最新鋭製造・加工設備や分析機器が整備されています。合金設計、合金評価、生体機能評価、形質制御、構造化の5つの研究分野からなるモノづくりの川上から川下まで一貫した研究体制によって、KUMADAIマグネシウム合金をはじめとする先進マグネシウム合金について基礎と応用の両面から研究を行っています。また、大学院教育も含めた人材育成、地域貢献も含めた産学官連携、東アジアから世界展開を目指した国際連携も進めており、国際的な中核的研究センターとして、世界の研究をリードしています。

生命資源研究・支援センター

平成15年度に設置された生命資源研究・支援センターは、熊本大学における研究資源に関する開発研究等を行なうとともに、研究資源及び研究資源情報をベースとした諸科学分野の教育研究のさらなる発展を目的として活動しています。

主な業務としては、遺伝子改変動物などの実験動物の作製、開発、保存、供給、データベースの構築・解析、表現型解析、動物実験、遺伝子実験、アイソトープ実験などの研究、情報提供並びに技術指導などがあげられます。

エイズ学研究センター

エイズ学研究センターは、日本の大学では唯一のエイズ専門のセンターとして平成9年の設立以来、生命科学研究部のエイズ研究分野や、東京の国立国際医療研究センター、国立感染症研究所と連携をとりながら、エイズ撲滅を目指して最先端の研究を行っています。また多数の海外の研究機関とエイズに関する国際共同研究を進めています。特に、HIV感染症での免疫を中心とした研究と新薬の開発に焦点を絞り、新たな治療法や予防法を開発を目指して、エイズとの戦いを続けています。

環境安全センター

環境安全センターは、平成18年4月1日に学内共同教育研究施設に転換され、本学の安全管理、環境管理、薬品管理及び廃棄物管理に係る教育研究支援を目的として設置されました。簡単な環境測定が行えるように分析室と分析機器を所有し、学内の作業環境測定業務にも利用されています。

埋蔵文化財調査センター

本学が市内に擁する8つのキャンパスは、縄文時代から近代にかけての県下でも有数の遺跡内に立地しています(黒髪町遺跡群、本庄遺跡、大江遺跡群など)。このため、キャンパス内の施設整備(建物の建築・改修、ライフラインの整備等)で地面を掘削する際、遺跡の破壊が避けられない場合には、遺跡の保護のため、発掘調査を行っています。

本センターは、平成6年より実施してきた発掘調査で出土した埋蔵文化財(遺構・遺物)を記録し、保存・活用することにより、本学の教育と研究に貢献することを目的として平成23年10月に前身の埋蔵文化財調査室を改組し、学内共同教育研究施設として設置されました。調査結果については、年報・報告書を作成し、考古学研究の基礎資料として情報公開を行うとともに、展示や各種行事を通じて、学内外への普及啓発に努めています。

障がい学生支援室

障がい学生支援室は、障害者差別解消法の施行(平成28年4月)にあたり平成27年11月1日に設置されました。障がい学生の修学支援体制を強化し円滑な修学に寄与するため、障がい有する学生からの相談受付や必要とされる配慮・支援の提供を行っています。

文書館

文書館は、本学の歴史に関する資料の収集、管理及び公開並びに法人文書の適切な管理を目的として、平成28年4月1日に設置されました。主な業務としては、60年史編纂に当たって収集した資料の目録作成、法人文書の管理及び熊本大学史(近代高等教育史)などがあげられます。

学外オフィス

熊本大学東京オフィス

- 開設** 平成16年4月
- 業務内容** ①本学の教育研究活動の情報発信
②入試情報の発信及び学生の就職活動支援
③同窓会組織との連携活動
④各種セミナー及び会議等の開催
⑤産学連携の支援
- 郵便番号** 〒108-0023
- 住所** 東京都港区芝浦3-3-6
東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター4階407号室
- TEL・FAX** 03-5440-9093
- E-mail** kuma-u.tokyo@cictokyo.jp
- 開館時間** 平日10:00～17:00
- 休館日** 土・日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)、東京工業大学が定める休館日



熊本大学関西オフィス

- 開設** 平成23年12月
- 業務内容** ①本学の教育研究活動の情報発信
②入試情報の発信及び学生の就職活動支援
③同窓会組織との連携活動
④各種セミナー及び会議等の開催
⑤産学連携の支援
- 郵便番号** 〒530-0001
- 住所** 大阪府大阪市北区梅田1-1-3
大阪駅前第3ビル6階608-2号室
- TEL・FAX** 06-4256-8153
- E-mail** kansai-office@jimu.kumamoto-u.ac.jp
- 開館時間** 平日10:00～17:00
- 休館日** 土・日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)



熊本大学関西リエゾンオフィス

- 開設** 平成21年10月
- 業務内容** ①企業訪問等による産学連携促進及び技術移転活動
②技術相談及び共同研究打合せ
③研究シーズ等の常設展示及び広報活動
④熊本大学案内、入試情報等の周知及び就職支援等
⑤同窓会組織等との連携活動
⑥各種セミナー及び会議等の開催
- 郵便番号** 〒577-0011
- 住所** 大阪府東大阪市荒本北1-4-1
クリエイション・コア東大阪南館 2203室
- E-mail** kansai@kumamoto-u.ac.jp



熊本大学上海オフィス(熊本上海事務所)

- 開設** 平成17年10月
(平成23年10月より熊本県、熊本市と共同で熊本上海事務所として運営)
- 業務内容** ①交流協定校等との学生交流・学術交流の促進
②留学生の開拓及び留学予定者に対する渡航前準備の支援
③産学官国際連携活動の促進
④大学情報及び入試情報の発信、広報活動の支援
⑤同窓会の支援拠点
- 郵便番号** 〒200041
- 住所** 上海市南京西路1038号梅龍鎮広場1509室
(一般社団法人熊本県貿易協会上海事務所内)
- TEL** +86-21-6218-6901
- FAX** +86-21-6218-6911
- E-mail** hehaiyang@kumamoto-shanghai.com



2 教育研究等

学外オフィス

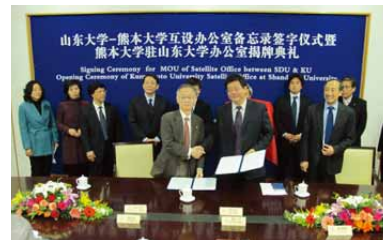
熊本大学韓国KAISTオフィス

開設 平成20年9月
業務内容 ①学術協力の推進
②両校合同研究シンポジウム開催支援
③大学情報及び入試情報の発信、広報活動の支援
郵便番号 〒305-701
住所 291 Daehak-ro(373-1 Guseong-dong),
Yuseong-gu,Daejeon,Korea
(韓国科学技術院(KAIST) Biomedical Research Center内)



熊本大学(駐山東大学)国際産学連携サテライトオフィス

開設 平成22年3月
業務内容 ①産学連携活動の促進 ②学術交流の推進
③大学情報の発信 ④中国における本学の活動拠点
郵便番号 〒250100
住所 中国済南市山大南路27号 山東大学(国際事務部)内
E-mail ipo@sdu.edu.cn



熊本大学インドネシアITSオフィス

開設 平成22年4月
業務内容 ①交流協定校等との学生交流・学術交流の促進
②留学生の開拓及び留学予定者に対する渡航前準備の支援
③産学官国際連携活動の促進
④大学情報及び入試情報の発信、広報活動の支援
⑤同窓会の支援拠点
郵便番号 〒60111
住所 Gedung Rektorat Lantai 1
Kampus ITS Keputih - Sukolilo Surabaya. Jawa Timur, Indonesia (スラバヤ工科大学(ITS)International Office内)
T E L +62-31-596-6985 (英語対応のみ)
E-mail mia.hernawati.sby@gmail.com (英語対応のみ)



熊本大学大連オフィス

開設 平成23年3月
業務内容 ①大連理工大学及び中国北部の交流協定校等の学生及び教職員への
日本及び熊本大学に関する情報の発信
②中国北部の卒業生及び関係者のネットワーク形成
③中国北部の他の交流協定校等との関係強化の取り組み
④その他中国北部での熊本大学の活動
郵便番号 〒116024
住所 中華人民共和国 大連市甘井子区凌工路2号
T E L +86-411-8470-6251
E-mail qiaosen@dlut.edu.cn



国立六大学長春共同事務所

開設 平成26年11月
国立六大学(千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学、熊本大学)の共同事務所として開設
業務内容 ①中国東北部の学生及び教職員への日本及び国立六大学に関する情報の発信
②中国東北部の卒業生及び関係者のネットワーク形成
③中国東北部の交流協定校等との関係強化の取り組み
④その他中国東北部での国立六大学の活動
郵便番号 〒130117
住所 中華人民共和国 長春市東北師範大学浄月校区
T E L +86- 431-8451-6278



寄附講座

奨学を目的とする民間等からの寄附により設置・運営し、教育研究の充実をはかります。

(H28.4.1現在)

部局名	寄附講座名称	設置期間	寄附者
大学院生命科学研究部	免疫・アレルギー・血管病態学寄附講座	平成23年4月1日～平成33年3月31日	医療法人 博麗会 のぐち皮ふ科 医療法人 信岡会 菊池病院 医療法人 春水会 山鹿中央病院 医療法人 岡山会 九州記念病院 医療法人 愛生会 外山病院 医療法人社団 仁誠会 医療法人 中下会 内科熊本クリニック 医療法人社団 東陽会 東病院 医療法人社団 藤栄会 すえふじ医院 医療法人秋葉会メテikalスクエア九品寺クリニック いしはら皮膚外科クリニック 正晃テック株式会社 医療法人阿蘇久仁会 寺崎内科胃腸科クリニック たぶち内科循環器科 医療法人天野会 天野整形外科あまの皮ふ科 医療法人杏和会 城南病院
大学院生命科学研究部	糖尿病分子病態解析学寄附講座	平成22年4月1日～平成30年3月31日	MSD株式会社
大学院生命科学研究部	画像診断解析学寄附講座	平成15年10月1日～平成31年3月31日	株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン
医学部附属病院	循環器予防医学先端医療寄附講座	平成22年4月1日～平成29年3月31日	医療法人社団 陣内会 陣内病院
医学部附属病院	新生児学寄附講座	平成21年1月1日～平成30年12月31日	医療法人社団 愛育会 福田病院
医学部附属病院	機能神経外科先端医療寄附講座	平成20年7月1日～平成30年3月31日	医療法人社団 北斗会 北斗病院
医学部附属病院	心血管治療先端医療寄附講座	平成20年4月1日～平成30年3月31日	アイティーアイ株式会社 株式会社フィアスワン ジーエムメディカル株式会社 社団法人 菊池都市医師会 日本ライフライン株式会社 アポット バスキュラー ジャパン株式会社 医療法人社団 寿量会 熊本機能病院 株式会社テルモ 株式会社カネカメディックス セント・ジュード・メディカル株式会社 ポストン・サイエンティフィックジャパン株式会社 社会医療法人社団 熊本丸田会 熊本整形外科病院 日本メドトロニック株式会社 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 マツケ・ジャパン株式会社
医学部附属病院	不整脈先端医療寄附講座	平成19年4月1日～平成29年3月31日	ポストン・サイエンティフィック・ジャパン株式会社 日本光電工業株式会社 フクダ電子株式会社 セント・ジュード・メディカル株式会社 日本ライフライン株式会社 日本メドトロニック株式会社 株式会社フィアスワン 医療法人 田中会 武蔵ヶ丘病院 医療法人社団 鶴友会 鶴田病院 医療法人社団 イチイ会 小沢医院 医療法人 永田会 東熊本病院 医療法人社団 仁誠会 株式会社メディカル・アプライアンス バイオトロニックジャパン株式会社
医学部附属病院	消化器癌集学的治療学寄附講座	平成23年10月1日～平成29年9月30日	株式会社ヤクルト本社 中外製薬株式会社
医学部附属病院	乳癌分子標的治療学寄附講座	平成24年4月1日～平成30年3月31日	中外製薬株式会社 医療法人社団 仁風会 比企病院 医療法人東陽会 東病院 阿蘇医療センター 医療法人社団 世安会 くまもと乳癌・胃腸外科病院 一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター 山鹿市民医療センター
医学部附属病院	分子神経治療学寄附講座	平成25年4月1日～平成30年3月31日	一般財団法人 化学及血清療法研究所
医学部附属病院	関節再建先端治療学寄附講座	平成25年4月1日～平成30年3月31日	医療法人 社団藤浪会 整形外科井上病院・井上整形外科クリニック 社会医療法人社団 熊本丸田会 熊本整形外科病院 熊本整形外科病院・熊本リハビリテーション病院
医学部附属病院	脳血管障害先端医療寄附講座	平成26年4月1日～平成31年3月31日	医療法人財団 聖十字会
医学部附属病院	専門医療実践学寄附講座	平成28年4月1日～平成31年3月31日	熊本県
医学部附属病院	地域医療・総合診療実践学寄附講座	平成28年4月1日～平成31年3月31日	熊本県 公立玉名中央病院企業団

共同研究講座・共同研究部門

民間機関等からの共同研究経費を有効に活用して、本学の自主性及び主体性の下に設置運営し、本学の教育研究の進展及び充実をはかります。

(H28.4.1現在)

部局名	共同研究講座名称	設置期間	共同研究相手先
大学院自然科学研究科	熊本県社会技術実装講座	平成25年4月1日～平成29年3月31日	熊本県
大学院生命科学研究部	画像動態応用医学共同研究講座	平成26年4月1日～平成31年3月31日	東芝メディカルシステムズ株式会社
薬学部	えがわ - 熊本大学薬学部機能性食品共同研究講座	平成27年7月1日～平成29年6月30日	株式会社えがわ
大学院生命科学研究部	心不全先進医療共同研究講座	平成28年4月1日～平成30年3月31日	帝人在宅医療株式会社
先進マグネシウム国際研究センター	住友電工マグネシウム合金共同研究部門	平成27年10月1日～平成30年9月30日	住友電気工業株式会社

2 教育研究等

医学部附属病院

附属病院は、診療科、薬剤部、看護部及び中央診療施設等を有し、病床数845床（一般病床795床、精神病床50床）で、1日平均の外来患者数は1,300人を超えています。

現在、21世紀の医学、医療を担うに足る附属病院の完成を目指して本院の再開発計画を進めており、平成26年9月に外来診療棟が開院するなど、先進医療と全人的・包括的医療を兼ね備えた総合診療体制の確立を推進しています。その一環として、平成16年1月から診療内容も臓器別・系統別診療体制へ移行したほか、都道府県がん診療連携拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院等の指定も受けており、県内唯一の特定機能病院として、熊本県の地域医療水準の向上にも取り組んでおります。

理念

本院は、患者本位の医療の実践、医学の発展及び医療人の育成に努め、地域の福祉と健康に貢献する。

基本方針

- 患者の希望、期待、要求を尊重する医療の実践
- 安全安心で質の高い医療サービスの提供
- 優れた医療人の育成
- 先進医療の開発と推進

診療部

● 内科部門

<診療科名>
呼吸器内科／消化器内科／血液内科
膠原病内科／腎臓内科
糖尿病・代謝・内分泌内科
循環器内科／神経内科

● 外科部門

<診療科名>
心臓血管外科／呼吸器外科
消化器外科／乳腺・内分泌外科
小児外科／移植外科／泌尿器科
婦人科

● 成育医療部門

<診療科名>
小児科／産科

● 感覚・運動部門

<診療科名>
整形外科／皮膚科／形成・再建科
眼科／耳鼻咽喉科・頭頸部外科
歯科口腔外科

● 放射線診療部門

<診療科名>
画像診断・治療科／放射線治療科

● 脳・神経・精神部門

<診療科名>
神経精神科／脳神経外科／麻酔科

中央診療施設等

中央検査部
中央手術部
中央放射線部
集中治療部
中央材料部
リハビリテーション部

病理部
輸血・細胞治療部
救急・総合診療部
感染免疫診療部
血液浄化療法部
総合臨床研修センター

光学医療診療部
高度医療開発センター
地域医療連携センター
総合周産期母子医療センター
がんセンター
ME機器センター

地域医療支援センター
医療の質管理センター
移植医療センター

総合臨床
研究部

医療情報
経営企画部

薬剤部

看護部

医療
技術部

栄養
管理部

医療安全
管理部

感染
制御部

事務部



外来診療棟



各診療科等の実習に対応できる臨床シミュレーションシステム



手術支援ロボット

附属図書館

附属図書館は、中央館・医学系分館・薬学部分館で構成され、熊本大学の教育研究活動を支える学術情報基盤の1つとして活動しています。ネットワークを通じてサービス（電子ジャーナル、図書発注、文献複写依頼等）を提供しており、いつでも利用できる図書館となっています。また、一般市民への貸出、熊本大学学術リポジトリによる研究成果のインターネット公開なども行っており、地域社会に対する学術情報提供の拠点として機能しています。

蔵書類

(H28.3.31現在)

		単位	中央館	医学系分館	薬学部分館	合計
図書	和書(蔵書数)	冊	691,352	66,716	15,882	773,950
	洋書(蔵書数)		351,163	108,914	23,427	483,504
	合計		1,042,515	175,630	39,309	1,257,454
雑誌	和書	種類	10,808	2,555	585	13,948
	洋書		4,021	2,717	444	7,182
	合計		14,829	5,272	1,029	21,130
リポジトリ登録件数		件	-	-	-	13,252



▲(中央館) 外観

利用状況

(H27年度)

		単位	中央館	医学系分館	薬学部分館	合計
入館者数	人		394,973	109,894	37,365	542,232
貸出冊数	冊		64,959	8,708	508	74,175
文献複写数 (相互利用)	受付	件	968	1,199	94	2,261
	依頼		1,521	847	175	2,543
リポジトリダウンロード件数	件		-	-	-	726,077
座席数	席		646	226	58	930



▲(中央館) 館内

貴重資料

文庫名	内容
阿蘇家文書	阿蘇家旧蔵の中世以降の古文書類(国指定重要文化財)
細川家北岡文庫	永青文庫・肥後藩政資料(国指定重要文化財を含む)〈寄託資料〉
時習館文庫	旧藩校時習館の典籍類
松井文庫	旧松井男爵家旧蔵の古文書典籍類
菅野文庫	菅野是政氏旧蔵の幕末期の蘭書
落合文庫	落合東郭氏旧蔵の漢籍類
柚原文庫	柚原益樹氏旧蔵の支那哲学関係漢籍類
ポーター文庫	ウィリアム・ポーター氏五高在職当時の所蔵書
八雲文庫	小泉八雲に関する作品・伝記・評論の集積
仲光家文庫	旧熊本藩士、仲光家に伝わった古文書・典籍類
横井小楠文書	横井小楠に関する古文書・古記録類〈寄託資料〉



▲八雲文庫「ちりめん本」



▲永青文庫寄託「源氏物語」

全国共同利用大型資料（人文・社会科学系）

資料名	内容
英国議会資料	IPU BLUE BOOKS. 1,000Vols. 19世紀英国議会報告書の中から、主要な社会・政治的資料を1,000巻にまとめたもの
SYNTHESE LIBRARY	認識論・論理学・社会哲学とその関連領域の最新史料 135巻
民国二十年大陸土地問題資料	1932年に国民政府によって中央政治学校内に設置された地政学院の研究生が2年にわたって行った実地調査の報告書(全200冊)
シェイクスピア研究書コレクション	英国の文学批評家であるフランク・カーモード教授旧蔵のシェイクスピア研究書コレクション 805点
少数民族と移出入民：地球規模の現象と課題	世界の少数民族に関する民族誌、少数民族問題の社会学的研究、地球レベルでの移民と移動に関する研究及び書誌1セット(462冊 148リール)
米田家文書	熊本藩第二家老米田家の近世初期・中期及び幕末期の文書群126点、書類約400綴(要事前申請)

3 職員・学生数等

役員等数・職員数

役員等数

学 長	理 事	監 事	副学長 (教員が兼務)
1	5	2	3

職員数

(H28.6.1現在)

区 分	教 員																		事務・技術 職員等			計					
	教 授			准教授			講 師			助 教			助 手			教諭等			教員合計			事務・技術 職員等			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
文 学 部	24	4	28	26	4	30	1	1	2			0			0			0	51	9	60			0	51	9	60
教 育 学 部	37	13	50	35	9	44	2	2	4			0			0	50	35	85	124	59	183	3		3	127	59	186
法 学 部	11	3	14	9	4	13		3	3			0		1	1			0	20	11	31			0	20	11	31
理 学 部			0			0			0			0			0			0	0	0	0	3		3	3	3	6
薬 学 部	3		3	2	1	3			0			0	1	1	2			0	6	1	7	3	2	5	9	3	12
工 学 部			0			0			0			0			0			0	0	0	0	38	4	42	38	4	42
大学院社会文化科学研究科	7	1	8	5	3	8			0			0			0			0	12	4	16			0	12	4	16
大学院先端科学研究部	89	2	91	73	10	83	2	2	4	26	8	34			0			0	190	20	210			0	190	20	210
大学院生命科学研究部	64	10	74	36	9	45	21	3	24	75	27	102		1	1			0	196	50	246	5	4	9	201	54	255
大学院法曹養成研究科	7	2	9	4	4	8	1	1	2			0			0			0	12	6	18			0	12	6	18
発 生 医 学 研 究 所	8		8	2	1	3	1	1	2	6	1	7			0			0	17	2	19	7	1	8	24	3	27
パルスパワー科学研究所	9		9	4	1	5			0	2	2	4			0			0	15	1	16	1		1	16	1	17
大 学 院 先 導 機 構			0	9		9			0	4	4	8			0			0	13	0	13			0	13	0	13
イノベーション推進機構	1		1	3		3			0			0			0			0	4	0	4			0	4	0	4
大学教育統括管理運営機構	2		2	1		1			0			0			0			0	3	0	3			0	3	0	3
総合情報統括センター	4		4			0			0	1	1	2			0			0	5	0	5	3		3	8	0	8
グローバル教育カレッジ		2	2	1		1		2	2			0			0			0	1	4	5			0	1	4	5
政策創造研究教育センター	2		2	2	1	3			0			0			0			0	4	1	5			0	4	1	5
五 高 記 念 館			0	1		1			0			0			0			0	1	0	1			0	1	0	1
eラーニング推進機構	1		1	1		1			0			0			0			0	2	0	2	1		1	3	0	3
沿岸域環境科学教育研究センター	2		2	2		2			0			0			0			0	4	0	4	1		1	5	0	5
先進マグネシウム国際研究センター	3		3	1		1			0	1	1	2			0			0	5	0	5			0	5	0	5
生命資源研究・支援センター	2	1	3	2		2	2	2	4	1	5	6			0			0	10	2	12	3	4	7	13	6	19
エイズ学研究センター	4		4	2		2			0	1	1	2			0			0	7	1	8			0	7	1	8
環 境 安 全 セ ン タ ー			0	1		1			0			0			0			0	1	0	1			0	1	0	1
埋蔵文化財調査センター			0	1		1			0	1	1	2			0			0	2	1	3			0	2	1	3
保 健 セ ン タ ー	1		1	1		1			0		1	1			0			0	2	1	3	3		3	2	4	6
医学部附属病院	4		4	7	1	8	31	1	32	55	14	69			0			0	97	16	113	175	951	1,126	272	967	1,239
事 務 部 門			0			0			0			0			0			0	0	0	0	272	150	422	272	150	422
合 計	285	38	323	231	48	279	61	12	73	176	54	230	1	2	3	50	35	85	804	189	993	515	1,119	1,634	1,319	1,308	2,627

※育児休業者等を含む ※再雇用職員及び個別契約職員を除く

学生・生徒・児童及び幼児数

学部

(H28.5.1現在)

学 科 ・ 課 程	入 学 定 員	総定員	現 員																				
			1年次			2年次			3年次			4年次			5年次			6年次			計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
文学部	170	700	53	140	193	50	125	175	51	143	194	68	148	216							222	556	778
総合人間学科	55	220	19	48	67	18	37	55	9	51	60	19	48	67							65	184	249
歴史学科	35	140	21	17	38	17	22	39	14	22	36	24	18	42							76	79	155
文学科	50	200	10	46	56	10	37	47	19	44	63	15	49	64							54	176	230
コミュニケーション情報学科 (学部共通)	30	120	3	29	32	5	29	34	9	26	35	10	33	43							27	117	144
教育学部	290	1,160	150	173	323	140	173	313	131	166	297	147	195	342							568	707	1,275
小学校教員養成課程	110	440	69	54	123	59	55	114	56	53	109	62	71	133							246	233	479
中学校教員養成課程	70	280	44	39	83	44	37	81	44	30	74	40	42	82							172	148	320
特別支援教育教員養成課程	20	80	4	16	20	5	18	23	3	17	20	7	17	24							19	68	87
養護教諭養成課程	30	120	0	32	32	0	32	32	1	32	33	0	36	36							1	132	133
地域共生社会課程	20	80	9	13	22	8	14	22	6	15	21	13	12	25							36	54	90
生涯スポーツ福祉課程	40	160	24	19	43	24	17	41	21	19	40	25	17	42							94	72	166
法学部	210	860	119	98	217	133	111	244	110	99	209	131	100	231							493	408	901
法学科	210	840	119	98	217	133	111	244	110	99	209	131	100	231							493	408	901
(学部共通)		20																					
理学部	190	760	144	50	194	163	51	214	135	43	178	154	62	216							596	206	802
理学科	190	760	144	50	194	163	51	214	135	43	178	154	62	216							596	206	802
医学部	259	1,298	115	163	278	126	168	294	108	144	252	133	139	272	80	33	113	90	36	126	652	683	1,335
医学科	115	690	84	40	124	88	32	120	75	39	114	99	34	133	80	33	113	90	36	126	516	214	730
保健学科	144	576	31	123	154	38	136	174	33	105	138	34	105	139							136	469	605
(保健学科共通)		32																					
薬学部	90	470	58	40	98	54	43	97	56	49	105	48	45	93	23	31	54	29	28	57	268	236	504
薬学科	55	330	30	27	57	28	34	62	27	35	62	25	32	57	23	31	54	29	28	57	162	187	349
創薬・生命薬科学科	35	140	28	13	41	26	9	35	29	14	43	23	13	36							106	49	155
工学部	513	2,142	437	95	532	445	86	531	504	98	602	627	94	721							2,013	373	2,386
物質生命化学科	80	320	59	23	82	50	34	84	64	29	93	58	27	85							231	113	344
マテリアル工学科	46	184	44	5	49	43	8	51	52	5	57	57	5	62							196	23	219
機械システム工学科	97	388	85	14	99	92	9	101	99	12	111	150	12	162							426	47	473
社会環境工学科	71	284	59	14	73	61	11	72	67	17	84	79	9	88							266	51	317
建築学科	56	224	36	23	59	41	15	56	47	20	67	58	28	86							182	86	268
情報電気電子工学科	153	612	145	15	160	147	8	155	164	14	178	209	12	221							665	49	714
数理工学科	10	40	9	1	10	11	1	12	11	1	12	16	1	17							47	4	51
(学部共通)		90																					
合 計	1,722	7,390	1,076	759	1,835	1,111	757	1,868	1,095	742	1,837	1,308	783	2,091	103	64	167	119	64	183	4,812	3,169	7,981

外国人留学生を含む。

組織
教育研究等
職員・学生数等
国際交流
社会連携
福利厚生施設
財政
キャンパス
熊本大学
グローバルイニシアチブ
沿革

3 職員・学生数等

学生・生徒・児童及び幼児数

大学院(修士課程・博士前期課程)

(H28.5.1現在)

研究科・専攻	入学定員	総定員	現 員								
			1年次			2年次			計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計
教育学研究科(修士)	47	94	23	20	43	27	22	49	50	42	92
学校教育実践専攻	13	26	6	5	11	2	10	12	8	15	23
教科教育実践専攻	34	68	17	15	32	25	12	37	42	27	69
社会文化科学研究科(博士前期)	76	146	16	42	58	49	58	107	65	100	165
公共政策学専攻	13	23	1	3	4	8	2	10	9	5	14
法学専攻	12	21	2	1	3	4	3	7	6	4	10
現代社会人間学専攻	18	36	7	19	26	10	15	25	17	34	51
文化学専攻	18	36	1	9	10	10	16	26	11	25	36
教授システム学専攻	15	30	5	10	15	17	22	39	22	32	54
自然科学研究科(博士前期)	392	784	402	58	460	404	66	470	806	124	930
理学専攻	85	170	65	21	86	60	20	80	125	41	166
数学専攻	15	30	10	0	10	14	3	17	24	3	27
複合新領域科学専攻	12	24	12	2	14	3	2	5	15	4	19
物質生命化学専攻	43	86	42	17	59	34	12	46	76	29	105
マテリアル工学専攻	25	50	29	1	30	33	2	35	62	3	65
機械システム工学専攻	57	114	61	2	63	72	2	74	133	4	137
情報電気電子工学専攻	81	162	118	4	122	109	6	115	227	10	237
社会環境工学専攻	38	76	37	4	41	41	8	49	78	12	90
建築学専攻	36	72	28	7	35	38	11	49	66	18	84
医学教育部(修士)	20	40	7	6	13	3	9	12	10	15	25
医科学専攻	20	40	7	6	13	3	9	12	10	15	25
保健学教育部(博士前期)	16	32	10	11	21	15	22	37	25	33	58
保健学専攻	16	32	10	11	21	15	22	37	25	33	58
薬学教育部(博士前期)	35	70	23	11	34	23	15	38	46	26	72
創薬・生命薬科学専攻	35	70	23	11	34	23	15	38	46	26	72
合 計	586	1,166	481	148	629	521	192	713	1,002	340	1,342

外国人留学生を含む。

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

熊本大学
グローバルイニシアチブ
沿革

学生・生徒・児童及び幼児数

大学院(博士課程・博士後期課程)

(H28.5.1現在)

研究科・専攻	入学定員	総定員	現 員														
			1年次			2年次			3年次			4年次			計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
社会文化科学研究科(博士後期)	15	45	5	7	12	7	4	11	33	22	55				45	33	78
人間・社会科学専攻	6	18	1	2	3	3	2	5	14	8	22				18	12	30
文化学専攻	6	18	2	2	4	2	1	3	5	9	14				9	12	21
教授システム学専攻	3	9	2	3	5	2	1	3	14	5	19				18	9	27
自然科学研究科(博士後期)	62	186	39	13	52	44	16	60	85	16	101				168	45	213
理学専攻	10	30	6	4	10	11	2	13	25	2	27				42	8	50
複合新領域科学専攻	18	54	2	0	2	6	1	7	13	3	16				21	4	25
産業創造工学専攻	14	42	8	4	12	13	2	15	15	6	21				36	12	48
情報電気電子工学専攻	10	30	9	2	11	9	7	16	14	4	18				32	13	45
環境共生工学専攻	10	30	14	3	17	5	4	9	18	1	19				37	8	45
医学教育部(博士)	88	352	55	17	72	57	24	81	57	28	85	68	27	95	237	96	333
医学専攻	88	352	55	17	72	57	24	81	57	28	85	68	27	95	237	96	333
保健学教育部(博士後期)	6	18	4	4	8	6	3	9	11	12	23				21	19	40
保健学専攻	6	18	4	4	8	6	3	9	11	12	23				21	19	40
薬学教育部(博士)	8	32	10	1	11	7	2	9	2	4	6	7	0	7	26	7	33
医療薬学専攻	8	32	10	1	11	7	2	9	2	4	6	7	0	7	26	7	33
薬学教育部(博士後期)	10	30	8	8	16	6	3	9	12	7	19				26	18	44
創薬・生命薬科学専攻	10	30	8	8	16	6	3	9	12	7	19				26	18	44
合 計	189	663	121	50	171	127	52	179	200	89	289	75	27	102	523	218	741

外国人留学生を含む。

法曹養成研究科(法科大学院の課程)

(H28.5.1現在)

名 称	総定員	現 員											
		1年次			2年次			3年次			計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
法曹養成専攻	28	2	0	2	8	4	12	4	1	5	14	5	19

※平成28年度から学生募集停止

専攻科(修業年限1年)

(H28.5.1現在)

名 称	定員	現 員		
		男	女	計
特別支援教育特別専攻科	20	6	17	23

別科(修業年限1年)

(H28.5.1現在)

名 称	定員	現 員		
		男	女	計
養護教諭特別別科	40	1	39	40

教育学部附属学校

(H28.5.1現在)

区 分	入学(園)定員	総定員	学級数	現 員																					
				1年次			2年次			3年次			4年次			5年次			6年次			計			
				男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
小学校	105 (H23年度 まで120)	645	18	54	54	108	54	53	107	54	54	108	53	54	107	54	54	108	57	59	116	326	328	654	
中学校	160	480	12	80	79	159	79	78	157	79	80	159										238	237	475	
特別 支援 学校	小学部	6	18	複式3	2	0	2	2	1	3	3	0	3	2	1	3	1	2	3	1	2	3	11	6	17
	中学部	6	18	3	4	2	6	4	2	6	4	2	6										12	6	18
	高等部	8	24	3	6	3	9	7	2	9	3	5	8										16	10	26
幼稚園	3年保育	20	160	5	3歳児			4歳児			5歳児												76	65	141
	2年保育	50			17	16	33	30	31	61	29	18	47												

3 職員・学生数等

入学状況

学部

(平成28年度)

区 分	入学定員	入学志願者			入 学 者			外国人留学生 (内数)						
								入学志願者			入 学 者			
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
文 学 部	170	234	435	669	48	133	181	5	2	7	3	1	4	
教 育 学 部	290	386	467	853	145	172	317	1	0	1	1	0	1	
法 学 部	210	446	324	770	119	98	217	1	0	1	0	0	0	
理 学 部	190	445	189	634	144	50	194	2	2	4	1	1	2	
医学部	医 学 科	115	254	157	411	76	39	115	0	0	0	0	0	0
	保 健 学 科	144	111	428	539	31	123	154	0	0	0	0	0	0
薬 学 部	90	198	215	413	53	39	92	0	1	1	0	0	0	
工 学 部	513	1,088	243	1,331	436	95	531	5	1	6	1	0	1	
合 計	1,722	3,162	2,458	5,620	1,052	749	1,801	14	6	20	6	2	8	

国費留学生1名(外数)

大学院

(平成28年度)

区 分	入学定員	入学志願者			入 学 者			社会人入試 (内数)						外国人留学生 (内数)						
								入学志願者			入 学 者			入学志願者			入 学 者			
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
教育学研究科(修)	47	29	31	60	23	20	43	-	-	-	-	-	-	0	1	1	0	0	0	
社会文化科学研究科	前期	76	31	49	80	16	42	58	15	21	36	9	19	28	5	18	23	3	15	18
	後期	15	8	12	20	5	7	12	8	4	12	5	2	7	3	4	7	3	2	5
自然科学研究科	前期	392	484	73	557	386	55	441	2	0	2	1	0	1	18	3	21	14	3	17
	後期	62	25	3	28	23	3	26	8	0	8	8	0	8	6	1	7	5	1	6
医学教育部	修士	20	8	10	18	6	6	12	-	-	-	-	-	-	1	0	1	0	0	0
	博士	88	52	15	67	50	15	65	27	2	29	27	2	29	5	4	9	3	4	7
保健学教育部	前期	16	13	16	29	10	11	21	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
	後期	6	4	9	13	4	4	8	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
薬学教育部	前期	35	25	11	36	23	11	34	1	0	1	1	0	1	2	1	3	1	1	2
	後期	10	3	6	9	3	6	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	博士	8	14	2	16	10	1	11	0	0	0	0	0	0	4	2	6	2	1	3
合 計	775	696	237	933	559	181	740	61	27	88	51	23	74	44	34	78	31	27	58	

専攻科

(平成28年度)

区 分	入学定員	入学志願者			入 学 者		
		男	女	計	男	女	計
特別支援教育 特別専攻科	20	7	20	27	6	17	23
		(2)	(7)	(9)	(2)	(7)	(9)

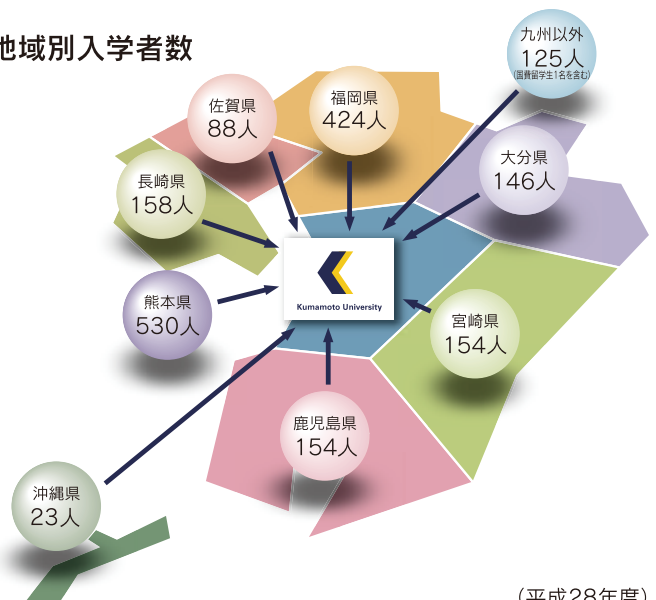
()内は現職教員で内数。

別科

(平成28年度)

区 分	入学定員	入学志願者			入 学 者		
		男	女	計	男	女	計
養 護 教 諭 特 別 科	40	1	61	62	1	39	40

地域別入学者数



(平成28年度)

卒業後の状況

(H28.5.1現在)

区 分	学 部																							
	文学部			教育学部			法学部			理学部			医学部			薬学部			工学部			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
卒 業 者 数	38	130	168	144	176	320	126	95	221	122	63	185	108	152	260	44	38	82	478	94	572	1,060	748	1,808
進 学 者 数	4	5	9	27	31	58	3	2	5	80	28	108	10	11	21	31	7	38	309	33	342	464	117	581
就 職 者 数	30	111	141	93	126	219	100	85	185	35	31	66	25	101	126	13	29	42	147	56	203	443	539	982
農・林・漁業・鉱業				2		2	1		1													3		3
建設業	1	3	4	2	2	4	2	1	3										16	8	24	21	14	35
食品・飲料・たばこ・飼料	1		1		1	1					1	1							1	1	2	2	3	5
繊維工業																								
印刷・関連業	1	2	3		1	1													1	1	2	2	4	6
化学工業、医薬品、石油・石炭製品		2	2		1	1	1	1	2		3	3				1	1	2	2	6	8	4	14	18
鉄鋼業、非鉄金属・金属製品		3	3		1	1	1		1										9	3	12	10	7	17
はん用・生産用・業務用機械器具	1	1	2										1		1				13	2	15	15	3	18
電子部品・デバイス・電子回路							1		1	1	1	2							5	3	8	7	4	11
電気・情報通信機械器具		1	1				1		1										5	1	6	6	2	8
輸送用機械器具							2		2										11	1	12	13	1	14
その他					1	1				1		1							5	2	7	6	3	9
電気・ガス・熱供給・水道業					1	1	1		1	1	2	3							3		3	6	2	8
情報通信業	6	10	16	3	2	5	8	3	11	6	2	8							12	7	19	35	24	59
運輸業、郵便業		8	8		1	1	4	3	7	2		2							5		5	11	12	23
卸売業・小売業	3	15	18	5	3	8	7	5	12	1	1	2	1		1	2	5	7	4		4	23	29	52
金融業・保険業	6	23	29	9	5	14	12	18	30	1	2	3							3	3	6	31	51	82
不動産業、物品賃貸業	1	5	6	2	1	3	4		4													7	6	13
学術研究、専門・技術サービス業	1	6	7	1	1	2	3	3	6	1	1	2				1	1	2	13	5	18	20	17	37
宿泊業、飲食サービス業	1	1	2				1		1	1		1										3	1	4
生活関連サービス業、娯楽業	1	2	3	3	3	6				1		1							1	1	2	6	6	12
教育、学習支援業	4	7	11	49	75	124	2	4	6	13	6	19							2	1	3	70	93	163
医療、福祉		5	5		3	3	3	1	4	1	5	6	23	101	124	9	22	31				36	137	173
複合サービス事業							1		1													1		1
サービス業		4	4	1	2	3				1	3	4							2		2	4	9	13
国家公務		6	6	2	1	3	19	14	33										2	2	4	23	23	46
地方公務	2	7	9	13	22	35	25	32	57	4	4	8							32	8	40	76	73	149
上記以外	1		1				1		1											1	1	2	1	3
そ の 他	4	14	18	24	19	43	23	8	31	7	4	11	73 (65)	40 (37)	113 (102)		2	2	22	5	27	153 (65)	92 (37)	245 (102)

卒業生数は平成27年度間(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)に卒業した者を示す。「その他」欄の医学部の()内は、臨床研修医を示す。

組織
教育研究等
職員・学生数等
国際交流
社会連携
福利厚生施設
財政
キャンパス
熊本大学
ユニバーシティシステム
沿革

3 職員・学生数等

修了後の状況

(H28.5.1現在)

区 分	大 学 院																																				
	教育学研究科 (修士)			社会文化科学研究科 (博士前期)			自然科学研究科 (博士前期)			医学教育部 (修士)			保健学教育部 (博士前期)			薬学教育部 (博士前期)			社会文化科学研究科 (博士後期)			自然科学研究科 (博士後期)			医学教育部 (博士)			保健学教育部 (博士後期)			薬学教育部 (博士後期)			法曹養成研究科 (専門職学位)			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計				
修了者数	19	13	32	20	31	51	368	66	434	7	8	15	10	7	17	19	15	34	4	3	7	36	11	47	48	24	72	2	1	3	11	3	14	7	4	11	
進学者数				1	1	2	15	4	19	2	2					7	6	13																			
就職者数	16	13	29	10	15	25	339	55	394	7	6	13	10	7	17	11	9	20	2	1	3	24	7	31	39	12	51	2		2	8	2	10				
農・林・漁業・鉱業							1	1														1	1														
建設業							27	1	28																												
食料品・飲料・たばこ・飼料							7	7	14	1	1																										
繊維工業							1	1																													
印刷・同関連業							3	3																													
化学工業・医薬品・石油・石炭製品							49	10	59	2	2	4				9	5	14				1	1	2	2				4	4							
鉄鋼業・非鉄金属・金属製品							27	2	29													1	1														
はん用・生産用・業務用機械器具							23	1	24	1	1					1	1																				
電子部品・デバイス・電子回路							31	1	32													2	1	3													
電気・情報通信機械器具							32	3	35																												
輸送用機械器具				1		1	33		33																												
その他							8	1	9																												
電気・ガス・熱供給・水道業							9	1	10																												
情報通信業	2	2		1	1		33	5	38													2	2														
運輸業、郵便業	1	1					2	2																													
卸売業・小売業							1	2	3	1	1					1	1																				
金融業・保険業					1	1																															
不動産業、物品賃貸業							1	1																													
学術研究、専門・技術サービス業	1	1		1	1		2	32	34	13	45					1	1					1	1	6	2	8											
宿泊業、飲食サービス業																																					
生活関連サービス業、娯楽業	1	1					1	1													1	1															
教育、学習支援業	15	7	22	2	5	7	7	4	11				1	2	3				2	2	4	5	19	2	3	5			1	1							
医療、福祉	1	1		3	2	5	1	1	2	4	1	5	9	5	14	1	2	3							29	7	36	2	2	3	2	5					
複合サービス事業																																					
サービス業							2	2		1	1																										
公 国 家 公 務							1	1																													
務 地 方 公 務	1	1		2	4	6	9	1	10															2	1	3											
上 記 以 外				1	1	2																															
そ の 他	3	3	9	15	24	39	14	7	21						1	1	2	2	4	6	12	4	16	9	12	21	1	1	3	1	4	7	4	11	15		

修了者数は平成27年度間(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)に修了した者を示す。

学位授与数

(H28.3.31現在)

区 分	旧制	新 制				
		課 程			論 文	
		卒業者・修了者	遡及修了者	累 計	平成27年度	累 計
博士(文学)		4	0	66	1	18
博士(公共政策学)		0	0	22	0	3
博士(法学)		1	0	8		
博士(理学)		4	2	197	0	30
博士(工学)		20	3	645	0	110
博士(学術)		13	6	321	1	20
博士(医学)	1,663	48	12	2,069	8	986
博士(保健学)		3	0	6		
博士(看護学)		0	0	2		
博士(薬学)		7	0	267	0	153
博士(薬科学)		7	0	13	3	3
博士(臨床薬学)		0	0	7		
博士(生命科学)		1	0	23	0	5
法務博士(専門職)		11	0	172		
修士(文学)		29		1,017		
修士(教育学)		32		1,137		
修士(法学)		2		459		
修士(公共政策学)		2		88		
修士(医科学)		15		284		
修士(看護学)		5		55		
修士(保健学)		12		73		
修士(薬科学)		29		142		
修士(薬学)		0		1,591		
修士(臨床薬学)		0		76		
修士(健康生命科学)		5		15		
修士(理学)		89		2,260		
修士(工学)		345		8,901		
修士(学術)		8		94		
修士(教授システム)		10		106		
合 計	1,663	702	23	20,116	13	1,328

平成27年度中に授与した学位の数(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

奨学生数

(H28.3.1現在)

区 分	在学生数	日本学生支援機構			各種団体 育英会	合 計	
		一種	二種	計			
学 部	8,006	2,145	2,148	4,293	103	4,396	
大学院	博士前期・修士	1,329	575	87	662	11	673
	博士後期・博士	728	63	6	69	2	71
	法曹養成研究科	32	16	6	22	0	22
合 計	10,095	2,799	2,247	5,046	116	5,162	

「学部」は、特別支援教育特別専攻科及び養護教諭特別別科を含む。

研究者の派遣・受入れ

(平成27年度)

地域	国名・地域名	派遣							受入						
		文部科学省	日本学術振興会	国際協力機構	その他国内資金	外国政府・研究機関等	私費	計	文部科学省	日本学術振興会	国際協力機構	その他国内資金	外国政府・研究機関等	私費	計
アジア	インド	1	3		2	1	2	9	1	1		1		2	5
	インドネシア	8	1		26	3		38	4		1	4	11	4	24
	カンボジア	1	2		3	1		7	1			1			2
	シンガポール		2		14	4		20	2						2
	スリランカ				1		1	2							0
	タイ	1		4	23	2		30	3	1	7	18	7		36
	ネパール	1			1	1		3							0
	バングラデシュ		2		2			4	2	1		3			6
	フィリピン	3	4		4	4	1	16				10	1		11
	ベトナム		5		22	3	2	32	1			3			4
	マレーシア	1	1		10	2		14	1			4	1		6
	ミャンマー	3		8	13	4		28	2		2	4	1		9
	モンゴル	1	1					2				10		1	11
	ラオス			1	1	3		5				1		1	2
	韓国	9	6		79	5	6	105	5	1		4		1	11
	台湾	5	1		24	7	4	41	2				1	2	5
	中国	3	2	1	94	17	6	123	8	1		18	20	15	62
小計	37	30	14	319	57	22	479	32	5	10	81	42	26	196	
中近東	アラブ首長国連邦						1	1						0	
	イラン					1		1	1		1		2	4	
	サウジアラビア						0	0				1		1	
	シリア						0	1	1					2	
	トルコ				6	2		8	2					2	
小計	0	0	0	6	3	1	10	4	1	0	1	1	2	9	
アフリカ	エジプト						0	1	1		1	5		8	
	ガーナ				1		1							0	
	ケニア				1		1							0	
	コンゴ民主共和国						0					1		1	
	スーダン	2					2							0	
	タンザニア	1			1		2	2			2		1	5	
	チュニジア						0				1			1	
	ナイジェリア						0					4		4	
	南アフリカ				2		1	3				1		1	
小計	3	0	0	5	0	1	9	3	1	0	5	10	1	20	
オセアニア	オーストラリア	2	2		23	1	1	29	1		2	2		5	
	ニュージーランド		2		2	1		5	1		1	2		4	
	パプア・ニューギニア				1		1							0	
	フランス領ポリネシア				1		1							0	
	小計	2	4	0	27	2	1	36	2	0	0	3	4	0	9
北アメリカ	アメリカ	12	25		276	8	17	338	13	4		17	6	40	
	カナダ	6	5		27	3		41		1		1	2	4	
	小計	18	30	0	303	11	17	379	13	5	0	18	8	0	44
中南アメリカ	ウルグアイ				1			1						0	
	ブラジル				1			1						0	
	メキシコ				1			1						0	
	小計	0	0	0	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	
ヨーロッパ	アイルランド				2			2						0	
	イギリス	3	6		37	2	2	50	6		3	2		11	
	イタリア				28	1	1	30						0	
	ウクライナ							0				1		1	
	ウズベキスタン							0				1		1	
	オーストリア	1	1		12		1	15	1		3			4	
	オランダ				15	1	1	17	3		1			4	
	ギリシャ				4			4						0	
	キルギス				1			1						0	
	クロアチア				4			4						0	
	スイス	2	1		10	3		16		2		2	1	5	
	スウェーデン				11			11						0	
	スペイン				15	1		16	1			3		4	
	スロバキア							0				1	1	2	
	スロベニア				7			7	1		5			6	
	チェコ		2		8		1	11	2		1		2	5	
	デンマーク				1			1						0	
	ドイツ	3	6		40	2	5	56	9	2		4	4	19	
	ノルウェー				1			1						0	
	ハンガリー		1		2	1		4						0	
	フィンランド				3			3						0	
	フランス	5	2		42	2		51	3	1		12		16	
	ペラルーシ					1		1						0	
	ベルギー	1			5		1	7					1	1	
	ポーランド	2			7			9	1					1	
	ボルトガル				10		1	11						0	
	リヒテンシュタイン				1			1						0	
	ルーマニア	3			1	1		5						0	
	ロシア				11		1	12	1					1	
小計	20	19	0	278	15	14	346	28	5	0	37	9	2	81	
計		80	83	14	941	88	56	1262	82	17	10	145	74	31	359

組織
教育研究等
職員・学生教等
国際交流
社会連携
福利厚生施設
財政
キャンパス
熊本大学
ユニバーシティシステム
沿革

4 国際交流

海外派遣留学生

交流協定校への派遣学生

(学生交流協定を締結している大学への3ヶ月以上1年以内の派遣)

(過去5年間の実績)

国名・地域	大 学 名	派 遣 人 員														
		平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
アメリカ	モンタナ州立大学	0	0	0	1	0	1	1	1	2	2	1	3	0	1	1
	モンタナ大学	1	2	3	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	パシフィック大学	1	0	1	—	—	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0
	ジョージア工科大学	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0
オーストラリア	ニューカッスル大学	0	0	0	0	2	2	0	0	0	2	1	3	0	4	4
ニュージーランド	マッセー大学	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
イギリス	リーズ大学	0	2	2	3	2	5	0	1	1	2	6	8	0	5	5
	バーミンガム大学	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ドイツ	ボン大学 (文学部との部局間交流協定校)	0	2	2	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1
	ザールラント大学	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
フランス	ボルドー大学連合	0	0	0	0	1	1	0	1	1	3	1	4	1	2	3
	ボルドー工科大学	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	ブレイズパスカル大学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0	1	1	0	1
	ロレーヌ大学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	2
ポーランド	ワルシャワ大学	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
チェコ	オストラハ工科大学及び チェコ科学アカデミー地球科学研究所 (工学部・自然科学研究科との部局間交流協定校)	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	プラハ化学技術大学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0	1	0	0	0
スロベニア	マリボル大学	—	—	—	—	—	—	1	0	1	1	0	1	1	0	1
ロシア	ノボシビルスク州立工科大学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0	1
中 国	上海師範大学	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	山東大学	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	華東政法大学	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0
	同 済 大 学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	2
	上海交通大学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0	1
台 湾	南栄科技大学 (教育学部との部局間交流協定校)	0	2	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	南台科技大学	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1
韓 国	東亜大学校	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ソウル市立大学校	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
マレーシア	マレーシア理科大学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	1	1
ベトナム	ハノイ建設大学	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
インドネシア	バンドン工科大学	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	スラバヤ工科大学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0	1	0	0	0
	ガジャマダ大学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0	1
インド	アナマライ大学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0	1	0	0	0
合 計		5	10	15	9	8	17	6	8	14	16	11	27	10	17	27

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

熊本大学
ユニバーシティシステム沿革

海外語学セミナー及び協定校でのサマープログラム

全学生を対象に、夏休みや春休みを利用して協定校等で2週間～1ヶ月の短期セミナーを実施しています。

国名・地域	大学名	実施期間	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	累計
			10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
協定校	カナダ アルバータ大学	夏期4週間	10	16	9	26	23	SARS 再開 により 中止	29	23	15	28	14	14	20	13	28	39	38	32	377
	アメリカ モンタナ州立大学	夏期2週間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	8
	イギリス リーズ大学	夏期4週間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	7	9
	韓国 東亜大学校	夏期2週間	-	-	-	-	-	-	-	-	11	7	6	7	5	5	4	4	5	4	58
	韓国 培材大学校	夏期2週間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	3	4	6	5	1	-	-	-	23
	韓国 朝鮮大学校	夏期3週間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
	韓国 朝鮮大学校	冬期2週間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	5
	韓国 ソウル市立大学校	夏期3週間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	4	1	-	-	-	10
	韓国 釜慶大学校	夏期10日間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
	オーストラリア ニューカッスル大学	春期2週間	-	-	-	-	-	-	7	5	6	8	6	4	15	18	11	16	25	30	151
	中国 上海師範大学	夏期2週間	-	-	-	-	-	-	-	-	5	10	10	5	11	-	-	-	-	-	41
	中国 上海師範大学	夏期4週間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	3
	中国 華東政法学院	夏期4週間	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
	中国 同濟大学	夏期2週間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	2	-	6
台湾 南台科技大学	夏期2週間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	3	2	5	2	5	5	26	
協定校外	ドイツ フライブルク大学	夏期4週間	-	-	-	8	7	13	9	22	18	21	16	30	6	15	22	37	21	5	250
	アメリカ カリフォルニア大学ロサンゼルス校	夏期4週間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	18	48
	アメリカ ハワイ大学マノア校	春期3週間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	0	6
	ユタ州 マツセー大学	冬期2週間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	6
合計			10	16	9	34	30	13	57	50	55	78	57	68	69	69	78	100	135	115	1,043

国際奨学事業

本事業は、本学学生の海外での学習・研究活動への参加を支援するために平成17年度からはじまった本学独自の奨学金制度です。対象となる活動は、国際学会での発表、国際的な調査活動、国際インターンシップ、交流協定校での目標を定めた学習、国際的な学習・研究活動、短期海外語学セミナーです。

国際奨学事業受給者

部局名	平成26年度			平成27年度			
	男	女	計	男	女	計	
学部	文学部	2	1	3	0	3	3
	教育学部	0	0	0	0	3	3
	法学部	0	3	3	0	3	3
	理学部	1	2	3	0	2	2
	医学部	0	1	1	0	1	1
	薬学部	1	1	2	6	4	10
	工学部	9	7	16	10	4	14
小計	13	15	28	16	20	36	
大学院	教育学研究科(修士)	2	2	4	1	4	5
	社会文化科学研究科(博士前期)	0	2	2	4	3	7
	社会文化科学研究科(博士後期)	1	3	4	0	1	1
	自然科学研究科(博士前期)	12	2	14	14	4	18
	自然科学研究科(博士後期)	3	0	3	3	1	4
	医学教育部	5	0	5	5	3	8
	保健学教育部	5	1	6	2	1	3
薬学教育部	1	0	1	1	1	2	
法曹養成研究科	1	0	1	0	0	0	
小計	30	10	40	30	18	48	
合計	43	25	68	46	38	84	

※教育学部は特別支援教育特別専攻科を含む

活動内容

活動内容	平成26年度以前	平成27年度
国際学会発表	656	35
国際的な調査活動	202	16
国際インターンシップ	69	18
留学	58	2
その他	188	13
合計	1173	84

渡航した国・地域(平成27年度)

アメリカ	中国	カンボジア
インドネシア	ドイツ	ポーランド
オーストラリア	フランス	イタリア
オランダ	ベトナム	チェコ
カナダ	ロシア	イギリス
台湾	タイ	

海外語学セミナーへの補助

国名	大学名	平成26年度	平成27年度
カナダ	アルバータ大学	8	2
オーストラリア	ニューカッスル大学	10	2
ドイツ	フライブルク大学	11	0
アメリカ	カリフォルニア大学ロサンゼルス校	5	3
イギリス	リーズ大学	-	1
合計		34	8

※海外語学セミナーへの補助は19年度より開始

生涯学習

公開講座

(平成27年度)

講座名	開催期間	募集人数	受講者数	受講対象者
陶芸教室～土と親しみ、つくる喜びをもとめて～	5/23～12/19	15	15	一般社会人
リーダーシップ・トレーニング	8/27～11/27	30	41	一般社会人、組織・団体のリーダー
実践・アンケート調査(入門編) ～調査・分析の基礎を理解しよう～	6/9～6/12	15	12	一般社会人
実践・アンケート調査(応用編) ～統計学を用いてデータを科学的に分析しよう～	6/30～7/3	15	7	一般社会人
ソーシャル・マーケティングを学ぼう!	7/7～8/4	20	7	保健師、行政職員、NPO法人など、公的な関心事に取り組まれている方
ポジティブ・ディビアンズ: 身近にある解決策を見つけ出そう	8/7～8/9	20	12	自治体、NPO、住民組織など具体的な課題に取り組んでいる方
世界の宗教と思想からみる「病」と「癒し」	11/7～12/19	30	25	一般社会人
陸上競技教室	7/18～8/15	40	23	小学生以上
「石橋ドクターと行く県央の石橋めぐり」	10/23	20	13	一般社会人
大バツハの生涯(前後篇5時間30分)	9/19～10/3	30	11	一般社会人
大戦間の名映画を尋ねて	10/10～10/24	30	16	一般社会人
教育デザイン・ワークショップ東京会場入門編	11/15・11/22・ 11/23・11/29	160	188	企業内教育、医療人材育成、学校教育など、教育を企画・デザイン・運営されている方
教育デザイン・ワークショップ東京会場応用編	1/24・1/31	80	75	企業内教育、医療人材育成、学校教育など、教育を企画・デザイン・運営されている方

授業開放科目

平成27年度前学期

(平成27年度)

	文学部	教育学部	法学部	理学部	医学部	薬学部	工学部	教養教育 実務機構	(原) 社会文化 科学研究科	(院) 自然科学 研究科	計
科目数	7	7	5	6	5	3	5	18	7	2	65
募集人員	35	32	25	30	25	15	25	90	35	10	322
受講者数	11	13	2	13	3	8	4	40	9	5	108

平成27年度後学期

(平成27年度)

	文学部	教育学部	法学部	理学部	医学部	薬学部	工学部	教養教育 実務機構	(原) 社会文化 科学研究科	(院) 自然科学 研究科	計
科目数	7	1	6	14	6	4	23	9	2	2	74
募集人員	35	5	30	70	30	20	115	45	10	10	370
受講者数	21	0	5	6	3	5	17	19	3	2	81

放送(テレビ)公開講座

テーマ:熊大チャンネル2016 開けよう!知の宝箱 (平成27年度)

	タイトル/担当教員	放送日
第1回	「地域に眠る古文書を読む」 三澤純 准教授	12/19
第2回	「学者と巡る 天草再発見ツアー」 松田博貴 教授	12/26
第3回	「潜入!熊大ミュージアム」 伊藤重剛 教授/伊東龍一 教授	1/9
第4回	「健康を守れ!ニューヒーロー誕生」 河村洋子 准教授	1/16
第5回	「日本一便利なまちに!公共交通のグランドデザイン」 満上章志 教授	1/23
第6回	「医療の現場から男女共同参画社会を考える」 後藤理英子 特任助教	1/30

知のフロンティア講座

(平成27年度)

	演 題	開催日
第1回	防災×食育 親子で挑戦!ペットボトルピザ作り	4/11
第2回	【筋トレくらぶ主催】ながら体操のすすめ	9/18
第3回	熊本県の防災・減災を考える(全5回)	10/3～11/7 (毎週土曜日開催)
第4回	織田信長研究の最前線 一信長の「天下」をめぐる	10/4 ※8/25開催予定が 台風のため延期
第5回	北区いきいき健康まつり～運動体験プログラム参加者募集～	12/6

5 社会連携

包括的連携協定等

本学の知的・人的資源を活用して、連携各機関と相互に協力しながら、地域における教育や文化の質の向上、産業の振興、地域課題の解決、環境保全に貢献することを目的としています。

	機 関 [協定年月日]	目 的
自治体等	天草市(旧本渡市) [平成16年3月29日]	包括的な連携の下、相互に協力し、地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的とする。
	葦北郡芦北町 [平成18年12月4日]	中山間地域の振興を目指して相互に協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的とする。
	熊本市 [平成19年4月26日]	相互に協力し、熊本市及び熊本都市圏を始めとする地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的とする。
	水俣市 [平成19年8月4日]	環境モデル都市の実現のため、環境保全、人材育成、地域づくり等様々な分野において、相互に協力することを目的とする。
	熊本県一般社団法人アジア法務サポートセンター [平成24年11月30日]	熊本県内企業の海外展開支援を連携して行うことにより、熊本県地域経済の発展及び人材の育成に寄与することを目的とする。
	菊池市 [平成26年8月18日]	大学の知的・人的資源を活かし、まちづくりなどを中心に、地域の課題解決に向けた市と大学との協力体制を築いていくことを目的とする。
研究機関等	財団法人阿蘇火山博物館久木文化財団 [平成18年4月21日]	相互に協力し、火山を始めとする阿蘇地域に関する研究及び地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的とする。
	放送大学 [平成22年11月20日]	包括的な連携協力の下、教育研究の推進並びに地域及び国際社会に寄与することを目的とする。
企業等	富士電機システムズ株式会社 [平成17年8月23日]	本学の有する研究成果と企業の有する技術力を集結し、産学の連携を推進することにより「次世代技術」を開発し、あわせて学術協力の振興、研究成果による社会貢献及び研究者・技術者の育成に資することを目的とする。
	DOWAホールディングス株式会社 [平成19年2月16日]	
	株式会社熊本日日新聞社 [平成23年2月23日]	包括的な連携の下、地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的とする。
	特定非営利活動法人NEXT熊本 [平成23年4月13日]	相互が有する人的、知的資源及び調査研究成果等の交流を行い、相互に連携することにより、地域情報化を推進し、あわせて学術研究の振興、地域情報化に係わる人材の育成に資することを目的とする。
	不二ライトメタル株式会社 [平成23年9月1日]	KUMADAI/マグネシウム合金の製造・開発にかかる連携協力を強化し、産業界における実用化を促進することを目的とする。
	熊本県 不二ライトメタル株式会社 株式会社日本医療機器技研 [平成27年9月28日]	各機関が有する人的・知的資源、研究・技術的成果を結集し、マグネシウム合金を使った医療機器の産業化による地域産業の活性化を目的とする。
	熊本県 株式会社肥後銀行 一般社団法人熊本県工業連合会 株式会社リハネス [平成28年2月9日]	大学等研究機関から事業シーズの発掘、創業支援を行い、将来的にはグローバルに活躍するメガベンチャーを創出することにより、熊本県内での新産業創出、雇用促進を図ることを目的とする。
	日立造船株式会社 熊本県 [平成28年2月15日]	日立造船と熊本大学において、熊本県の協力のもと、人的・知的資源の交流促進を通じて人材育成及び研究開発を充実させ、地域社会の発展に資することを目的とする。



▲熊本県、不二ライトメタル株式会社、株式会社日本医療機器技研との協定調印式



▲熊本県、株式会社肥後銀行、一般社団法人熊本県工業連合会、株式会社リハネスとの協定調印式



▲日立造船株式会社、熊本県との協定調印式

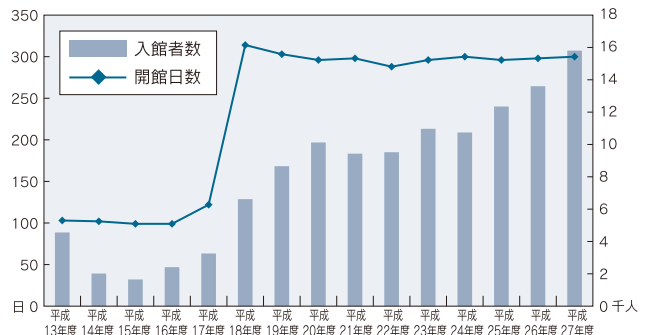
五高記念館入館者数

入館者数

年 度	開館日数	入館者数 (1日平均)	年 度	開館日数	入館者数 (1日平均)
平成13年度	103	4,558 (約44人)	平成21年度	298	9,432 (約31人)
平成14年度	102	2,017 (約19人)	平成22年度	288	9,521 (約33人)
平成15年度	99	1,651 (約16人)	平成23年度	296	10,968 (約37人)
平成16年度	99	2,409 (約24人)	平成24年度	300	10,742 (約36人)
平成17年度	122	3,257 (約26人)	平成25年度	296	12,346 (約42人)
平成18年度	314	6,618 (約21人)	平成26年度	298	13,603 (約46人)
平成19年度	303	8,656 (約28人)	平成27年度	300	15,804 (約53人)
平成20年度	296	10,123 (約34人)			

平成18年2月までは、土・日・日のみの開館。

入館者数状況



▲展示室内の勝海舟筆扁額

6 福利厚生施設

保健センター

保健センターは、昭和48年に本学に設置されて以来、学生・教職員の身体及び精神上的の健康の保持増進を図るため、定期・臨時の健康診断、健康相談、応急措置等を行っています。

(H28.4.1現在)

職員数	構造等	主な施設	業務内容	備考
所長(併) 専任教員(所長を含む) 2名 看護師 3名 学内医(併) 2名 カウンセラー 1名	鉄筋2階建 占有面積613㎡	診察室 検査室 休養室 相談室	定期及び臨時の健康診断、RI等取扱者の健康診断、健康相談、精神衛生相談、学生生活・教育相談、学業・進路相談、留学生相談、一般処置、スポーツクリニック、体育系サークル検診、保健センターだよりの発行及び保健情報の提供	昭和48年4月12日設置

学生寄宿舎

学生寄宿舎は、熊本大学黒髪キャンパスから東に約1.5Km離れた県道337号線沿いに位置し、本学学部学生及び学部留学生に対して勉学に資する生活の場を提供する目的で設置された施設です。

(H28.4.1現在)

定員数	対象者	構造・建物延面積	居室等	備考
男子 200名 (A棟 100名) (B棟 100名) 女子 80名 合計 280名	学部学生 及び 学部留学生	鉄筋5階建 (ただし、共通棟は鉄筋平屋建) 延面積5,024㎡	各室個室(10㎡) 男女浴室各1(共通棟) 各階に談話室、補食室、洗面・洗濯室、トイレ	昭和55年4月1日設置 (所在地) 熊本市中央区黒髪 7丁目763番地

学生会館

学生会館は、学生相互の親睦を深め、福利厚生の充実を図ることを目的として昭和41年に設立されたもので、会館には、集會室、体育団体・文化団体連絡室、食品・書籍・文具・プレイガイド及び食堂等があります。

(H28.4.1現在)

北地区学生会館 A 棟					北地区学生会館 B 棟				
課外活動施設関係			福利厚生施設関係		課外活動施設関係			福利厚生施設関係	
種別	部屋数	面積	種別	面積	種別	部屋数	面積	種別	面積
大集會室	1	501㎡	食堂	622㎡	体育会本部室	1	74㎡	理髪所	33㎡
音楽室	1	100㎡	厨房	263㎡	文化部会室	1	52㎡		
集會室	5	322㎡	購買関係	500㎡	紫熊祭本部室	1	57㎡		
和室	2	46㎡	機械室	46㎡	ミーティング室	2	118㎡		
その他		505㎡	その他	570㎡	その他		289㎡		
合計		1,474㎡	合計	2,001㎡	合計		590㎡	合計	33㎡
総面積					4,098㎡				

体育施設

(H28.4.1現在)

地区	施設名	面積等
黒髪	陸上競技場	1面 (トラック300m、7コース)
	ラグビー場	1面
	サッカー場	1面
	テニスコート	4面 (教育学部東教場)
	プール	50m8コース
	体育館	2棟 5,016㎡
	体育器具庫	3棟 736㎡
渡鹿 (大江総合運動場) ※主として 課外活動用	野球場	1面 (両翼88m、中堅110m)
	テニスコート	8面
	アーチェリー場	1基 (10人立)
	弓道場	1棟 (8人立)、191㎡
	体育館	1棟 990㎡
	自動車練習場	1面 2,378㎡
	合宿研修棟	1棟 1,068㎡
本荘・九品寺	体育器具庫	1棟 1,068㎡
	テニスコート	1面
大江 (薬学部)	体育館 (武道場を含む)	1棟 1,446㎡
	運動場	1面
	テニスコート	1面
三角 (宇城市三角町)	ヨット用艇庫	1棟 121㎡
	合宿所	1棟 59㎡
広木	漕艇用艇庫	1棟 225㎡(土地は熊本市から借用)

その他の福利厚生施設

(H28.4.1現在)

地区	施設名	面積	席数
黒髪(南)	南地区食堂	204㎡	—
	F O R I C O 食堂	950㎡	412
	F O R I C O 売店	165㎡	—
本荘・九品寺	楷樹会館食堂	207㎡	153
	楷樹会館購買	107㎡	—
大江	蕃滋館食堂	185㎡	160
	蕃滋館購買	56㎡	—

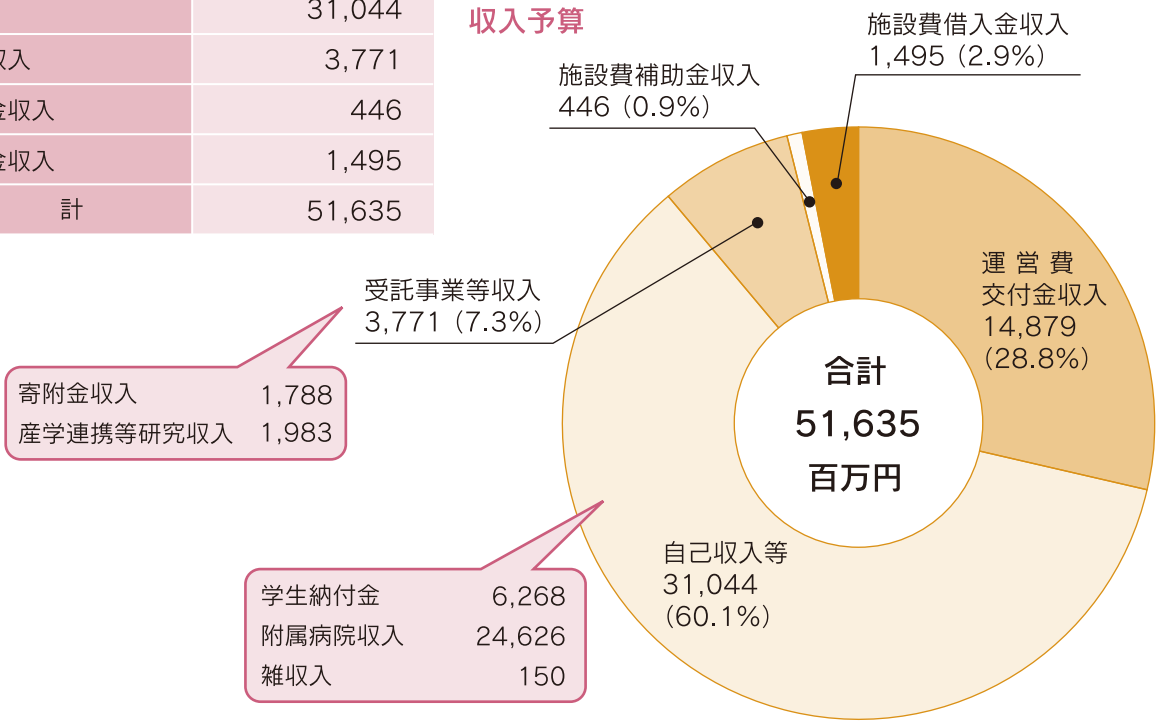
平成28年度収入・支出予算額

収入予算

単位：百万円

事 項	収 入 額
運営費交付金収入	14,879
自己収入等	31,044
受託事業等収入	3,771
施設費補助金収入	446
施設費借入金収入	1,495
合 計	51,635

収入予算

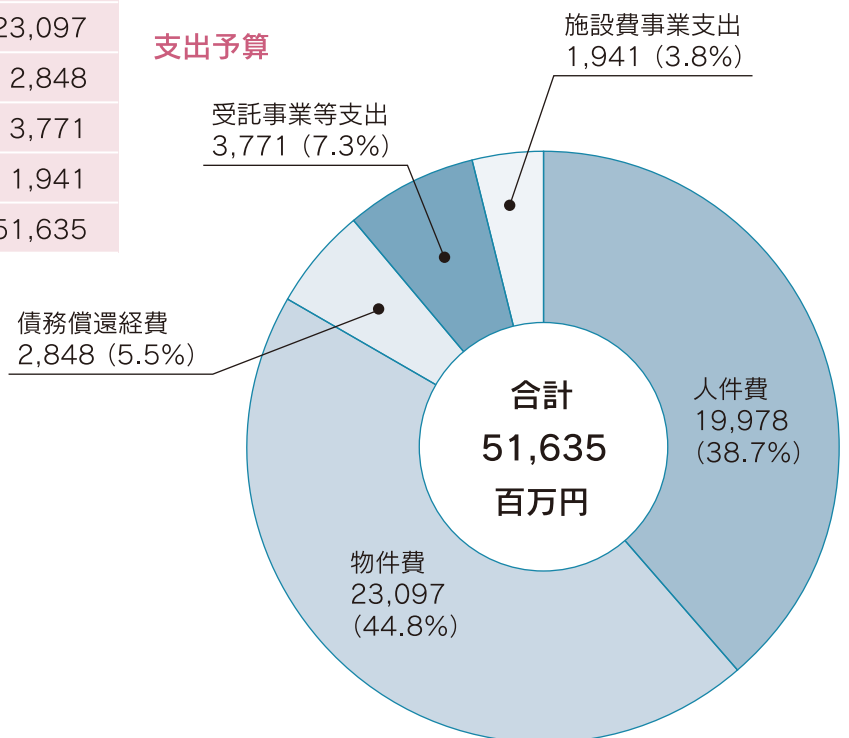


支出予算

単位：百万円

事 項	支 出 額
人件費	19,978
物件費	23,097
債務償還経費	2,848
受託事業等支出	3,771
施設費事業支出	1,941
合 計	51,635

支出予算



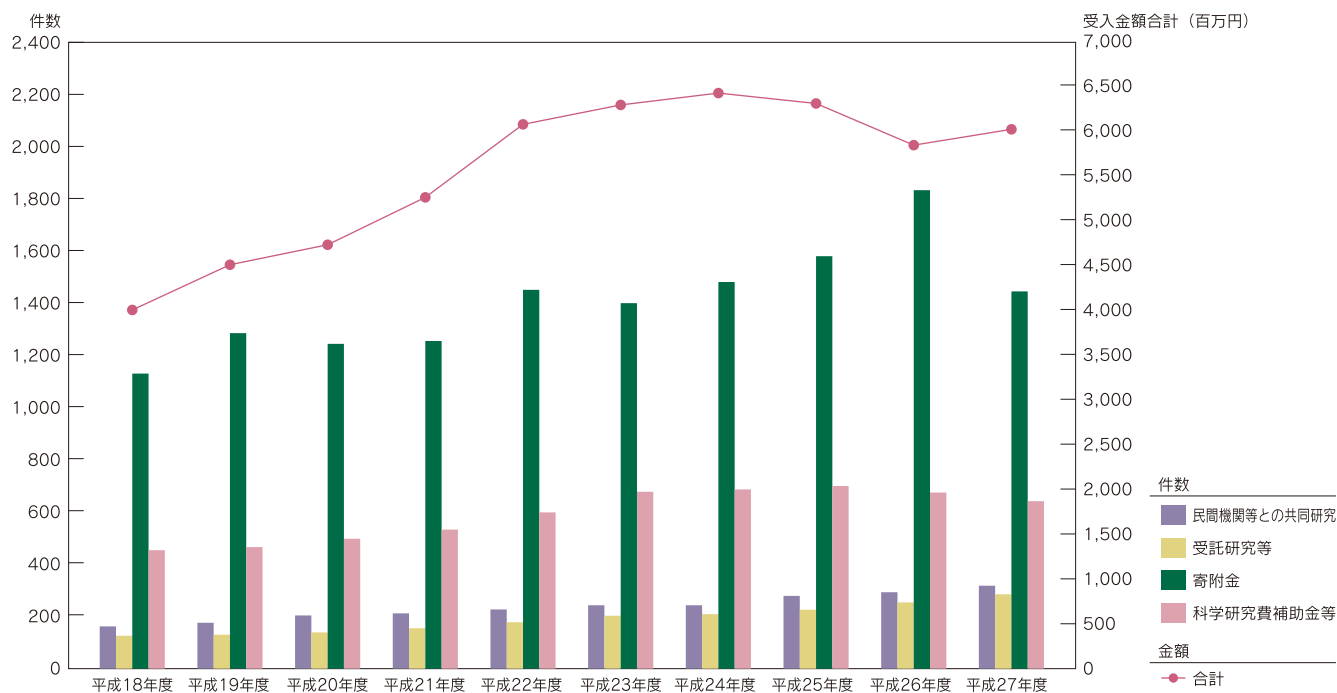
科学研究費助成事業採択状況

(平成27年度 執行見込額)

種 別	件 数	金額 (千円)
新学術領域研究(領域提案型)	34	346,450
基盤研究(S)	1	39,000
基盤研究(A)	11	142,090
基盤研究(B)	65	339,180
基盤研究(C)	296	436,337
挑戦的萌芽研究	64	101,270
若手研究(A)	10	56,940
若手研究(B)	135	200,785
研究活動スタート支援	13	18,200
研究成果公開促進費	2	4,800
特別研究員奨励費	38	36,300
総 計	669	1,721,352

間接経費を含む。千円未満は四捨五入。

外部資金等受入状況



	民間機関等との共同研究		受託研究等		寄附金		科学研究費補助金等		合計 金額(千円)
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	
平成18年度	162	280,397	126	782,534	1,131	1,100,367	454	1,846,738	4,010,036
平成19年度	176	322,753	130	1,197,121	1,286	1,211,178	466	1,784,457	4,515,509
平成20年度	204	346,947	139	1,145,421	1,245	1,419,462	498	1,827,264	4,739,094
平成21年度	212	249,108	155	1,146,055	1,256	1,610,660	533	2,262,968	5,268,791
平成22年度	227	321,015	178	1,518,359	1,452	1,717,616	599	2,528,118	6,085,108
平成23年度	243	384,620	203	1,475,526	1,401	1,799,194	678	2,642,832	6,302,172
平成24年度	243	360,909	209	1,178,364	1,482	1,828,130	687	3,067,303	6,434,706
平成25年度	279	383,877	226	1,199,215	1,581	1,849,497	700	2,885,846	6,318,435
平成26年度	293	415,815	254	1,242,560	1,834	1,685,254	675	2,508,927	5,852,556
平成27年度	318	411,737	285	2,265,917	1,446	1,568,707	642	1,783,050	6,029,411

※旧科学技術振興調整費を含む。 ※寄附講座分を含む。 ※熊本大学基金は含まない。 ※特別研究員奨励費は含まない。

7 財政

主な競争的資金採択状況

スーパーグローバル大学等事業（国際化拠点整備事業費補助金）

事業名	プログラム名称	実施期間
スーパーグローバル大学創成支援 (タイプB:グローバル化牽引型)	地域と世界をつなぐグローバル大学Kumamoto	平成26～35年度

大学改革推進等補助金

事業名	プログラム名称	実施期間
地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)	活力ある地域社会を共に創る火の国人材育成事業	平成26～30年度
地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 (COC+事業)	“オール熊本”で取り組む熊本産業創生と 雇用創出のための教育プログラム	平成27～31年度

研究大学強化促進費補助金

事業名	プログラム名称	実施期間
研究大学強化促進事業		平成25～34年度

科学技術人材育成費補助金（旧科学技術振興調整費）

事業名	プログラム名称	実施期間
テニユアトラック普及・定着事業		平成24～28年度
女性研究者研究活動支援事業(拠点型)		平成25～27年度

戦略的創造研究推進事業CREST（JST）

プログラム名称	実施期間	研究代表者	
地域水循環機構を踏まえた 地下水持続利用システムの構築	平成22～27年度	嶋田 純 教授	大学院自然科学研究科

教育改革プログラム

事業名	プログラム名称	実施期間	申請部局
博士課程教育リーディングプログラム(複合領域型)	グローバルな健康生命科学パイオニア養成プログラムHIGO	平成24～30年度	医学教育部 薬学教育部
大学間連携共同教育推進事業(地域連携)	減災型地域社会のリーダー養成プログラム	平成24～28年度	工学部
医学・医療の高度化の基盤を担う基礎研究医の養成	柴三郎プログラム:熊本発 基礎研究医養成	平成24～28年度	医学教育部
課題解決型高度医療人材養成プログラム(医師・歯科医師を対象とした人材養成)	国内初の、肝臓移植を担う高度医療人材養成	平成26～30年度	附属病院

<参考>終了した教育改革プログラム(平成20年度以降のみ掲載)

事業名	プログラム名称	実施期間	申請部局
特色ある大学教育支援プログラム	工学教育から発信する大学教育の質保証	平成18～20年度	工学部
現代的教育ニーズ取組支援プログラム	elこころ学習プログラムの開発	平成18～20年度	教育学部
先導的ITスペシャリスト育成推進プログラム	次世代情報化社会を牽引するICTアーキテクト育成プログラム(連携)	平成18～21年度	自然科学研究科
大学教育の国際化推進プログラム	熊本大学長期海外留学支援プログラム	平成19～22年度	研究・国際部
がんプロフェッショナル養成プラン	九州がんプロフェッショナル養成プラン(連携)	平成19～23年度	医学教育部
専門職大学院等教育推進プログラム	ローセンターを活用した臨床教育の高度化(単独)	平成19～20年度	法曹養成研究科
	実務技能教育指導要綱作成プロジェクト(連携)	平成19～20年度	法曹養成研究科
	九州・沖縄連携実習教育高度化プロジェクト(連携)	平成19～20年度	法曹養成研究科
	法科大学院を通じた研究者等の連携一貫教育(連携)	平成20～21年度	法曹養成研究科
大学院教育改革支援プログラム	IT時代の教育イノベーター育成プログラム	平成19～21年度	社会文化科学研究科
	大学院科学技術教育の全面英語化計画	平成19～21年度	自然科学研究科
	創薬研究者養成プログラム	平成19～21年度	薬学教育部
	臨床・基礎・社会医学一体型先端教育の実践	平成20～22年度	医学教育部
戦略的大学連携支援事業	スーパー連携大学院構想:産学官の広域連携を通じたイノベーション博士人材の育成(連携)	平成20～22年度	自然科学研究科
大学病院連携型高度医療人材養成推進事業	中九州三大学病院合同専門医養成プログラム(連携)	平成20～24年度	医学部附属病院
	多極連携型専門医・臨床研究医育成事業(連携)	平成20～24年度	医学部附属病院
質の高い大学教育推進プログラム	エコファーマを担う薬学人育成プログラム	平成20～22年度	薬学部
	学生主導型ゼミによる地域活性化人材の育成(連携)	平成20～22年度	法学部
理数学生応援プロジェクト	高・大・大学院連携型理数学生ステップ・アップ・プログラム	平成21～24年度	理・工学部
組織的な大学院教育改革推進プログラム	イノベーション創出のための大学院教養教育	平成21～23年度	自然科学研究科
大学教育推進プログラム	学習成果に基づく学士課程教育の体系的構築	平成21～23年度	全学

所属及び申請部局等は、申請当時の名称。

土地・建物面積

土地・建物面積

(H28.5.1現在)

区 分	土地 (㎡)	建物延面積 (㎡)
黒髪北地区	170,103	70,114
文学部・法学部・社文・法曹		13,684
教育学部		15,998
附属図書館		8,884
学内共同教育研究施設等		15,819
その他		15,729
教育学部東教場	26,375	5,949
教育学部		1,758
特別支援		4,164
その他		27
黒髪南地区	115,587	95,759
理学部		13,007
工学部		44,759
自然科学研究科		17,734
学内共同教育研究施設等		12,039
本部		4,162
その他		4,058
本荘地区	107,551	178,142
医学部		40,123
附属病院		113,238
発生医学研究所		7,070
エイズ学研究センター		5,206
動物資源開発研究施設		8,342
遺伝子実験施設 アイソトープ総合施設		4,163

区 分	土地 (㎡)	建物延面積 (㎡)
九品寺地区	25,761	14,082
医学部		13,774
こばと保育園		298
その他		10
大江地区	51,264	17,436
薬学部		17,148
その他		288
京町地区	51,547	13,167
附属小学校		7,268
附属中学校		5,871
その他		28
教育学部附属幼稚園	4,632	1,199
附属幼稚園		1,199
大江総合運動場	39,752	3,734
大江総合運動場		3,734
合津マリンステーション	4,903	1,653
マリンステーション		1,653
イノベーション推進機構(地域共同ラボラトリー)	(19,945)	2,085
地域共同ラボラトリー		2,085
その他	63,112	27,927
合計	660,587	431,247



組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

熊本大学
コハクティウム
沿革

位置図



1 黒髪北地区、黒髪南地区、教育学部東教場
 (本部棟、附属図書館、文、教育、法、理、工、社文科研、自然科学研等)
 ◎JR熊本駅から
 産交バス: 楠団地、武蔵ヶ丘(子飼橋経由)「熊本大学前」下車
 ◎JR上熊本駅から
 都市バス: 第一環状線、昭和町線(子飼橋経由)「子飼橋」下車、徒歩10分
 ◎JR竜田口駅から
 産交バス: 交通センター行き「熊本大学前」下車
 ◎交通センターから(16番のりば)
 産交バス: 楠団地、武蔵ヶ丘、大津行き等(子飼橋経由)「熊本大学前」下車

2 本荘・九品寺地区
 (医学部・附属病院等)
 ◎JR熊本駅から
 都市バス: 第一環状線等(大学病院・大江渡鹿経由)「大学病院前」下車
 ◎交通センターから(5番のりば)
 都市バス: 八王子環状線、済生会病院・野越団地行き「大学病院前」下車

3 大江地区
 (薬学部等)
 ◎JR熊本駅から
 市電: 健軍町行き(A系統)「味噌天神前」下車、徒歩5分
 ◎交通センターから(18~20番のりば)
 産交バス: 木山、沼山津、武蔵ヶ丘行き等(健軍・県庁経由)「味噌天神前」下車、徒歩5分
 熊本バス: 御船、甲佐、城南行き等(健軍・県庁経由)「味噌天神前」下車、徒歩5分
 ◎JR新水前寺駅から
 徒歩10分

4 京町地区
 (附属小学校・附属中学校)
8 合津マリンステーション
 ◎JR熊本駅・交通センターから(6番のりば)
 産交バス: 本渡、天草国際ホテル行き「前島」下車

5 城東地区
 (附属幼稚園)
9 地域共同ラボラトリー
 ◎交通センターから(26番のりば)
 産交バス: 阿蘇くまもと空港行き(空港リムジン)「阿蘇くまもと空港」下車、車で5分



主要施設等配置図

【黒髪北・南地区 教育学部東教場】

■黒髪北地区

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
TEL.096(344)2111

- 1 黒髪北N1(文学部本館)
- 2 黒髪北N2(文学部南棟)
- 3 黒髪北N3(法曹養成研究科自習棟)
- 4 黒髪北N4(文学部B講義棟)
- 5 黒髪北N5(社会文化科学研究科研究棟)
- 6 黒髪北N6(文学部北棟)
- 7 黒髪北N7(教育学部音楽棟)
- 8 黒髪北N8(教育学部実習工場)
- 9 黒髪北N9(教育学部西棟)
- 10 黒髪北N10(教育学部本館)
- 11 黒髪北N11(教育学部東棟)
- 12 文書館(資料室)
- 13 愛work
- 14 知命堂
- 15 くすの木会館
- 16 黒髪北設備・管理棟
- 17 黒髪北C1(共用棟黒髪5)
- 18 五高記念館(国指定重要文化財)
- 19 附属図書館中央館
- 20 附属図書館南棟・放送大学熊本学習センター
- 21 保健センター
- 22 北地区学生会館A棟
- 23 北地区学生会館B棟
- 24 北地区門衛所
- 25 赤門【国指定重要文化財】
- 26 黒髪北E1(全学教育棟)
- 27 黒髪北E2(共用棟黒髪6及び書庫)
- 28 黒髪北E3(共用棟黒髪6)
- 29 化学実験場【国指定重要文化財】
- 30 環境安全センター
- 31 グローバル教育カレッジ棟
- 32 黒髪北サークル棟1
- 33 黒髪体育館
- 34 黒髪北サークル棟2
- 35 黒髪北サークル棟3
- 36 グラウンド(武夫原)
- 37 プール

■黒髪南地区

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39番1号
TEL.096(344)2111

- 46 黒髪南W1(工学部研究棟Ⅲ)
- 47 黒髪南W2((黒髪)総合研究棟)
- 48 黒髪南W3(共用棟黒髪1)
- 49 黒髪南W4(工学部研究棟Ⅱ)
- 50 黒髪南W5(工学部研究棟Ⅳ)
- 51 黒髪南W6(中央工場A)
- 52 黒髪南W7(中央工場B)
- 53 黒髪南W8(ものづくり実習室)
- 54 黒髪南W9(ものづくり実習室2)
- 55 工学部百周年記念館
- 56 黒髪南C1(共用棟黒髪7)
- 57 黒髪南C2(工学部1号館)
- 58 黒髪南C3(工学部研究棟I)
- 59 黒髪南C4(共用棟黒髪2)
- 60 黒髪南C5(ナノ構造解析室)
- 61 黒髪南C6(音響実験室)
- 62 黒髪南C7(共用棟黒髪3)
- 63 黒髪南C8(工学部2号館)
- 64 黒髪南C9(総合情報統括センター)
- 65 文書館
- 66 本部【登録有形文化財】
- 67 工学部研究資料館【国指定重要文化財】
- 68 南地区門衛所
- 69 黒髪南E1(理学部1・2号館)
- 70 黒髪南E2
(自然科学研究科・理学部総合研究実験棟)
- 71 黒髪南E3(理学部3号館)
- 72 黒髪南E4(理学部4号館)
- 73 黒髪南E5(自然科学研究科研究棟)
- 74 黒髪南E6(自然科学研究科実験棟)
- 75 黒髪南E7(生物生態環境音響解析室)
- 76 黒髪南E8
(極低温実験室・Heガス回収中継室)
- 77 南地区学生会館
- 78 FORICO(福利施設)
- 79 黒髪南S1(水理実験棟)
- 80 黒髪南S2(工学部研究機器センター)
- 81 黒髪南S3(防災実験棟)
- 82 黒髪南S4(黒髪地区R1施設)
- 83 黒髪南S5(埋蔵文化財調査センター)
- 84 黒髪南S6
(ベンチャーラボ・衝撃極限環境研究実験棟)
- 85 黒髪南S7(インキューベーションラボラトリー)
- 86 黒髪南S8(衝撃実験棟)
- 87 黒髪南S9(研究実験棟)
- 88 黒髪南S10
(先進マグネシウム国際研究センター溶解鑄造実験棟)
- 89 黒髪南S11
(先進マグネシウム国際研究センター成形加工実験棟)
- 90 黒髪南S12
(国際先端科学技術研究拠点施設(IRCAST))

■教育学部東教場

〒860-0862
熊本市中央区黒髪5丁目17番1号
TEL.096(342)2956

- 38 黒髪北E8(教育学部東教室)
- 39 黒髪北E9(附属特別支援学校A棟)
- 40 黒髪北E10(附属特別支援学校B棟)
- 41 黒髪北E11(附属特別支援学校C棟)
- 42 黒髪北E12(附属特別支援学校体育館)
- 43 黒髪北E13(すずかけの家)
- 44 プール
- 45 運動場



組織
教育研究等
職員・学生教等
国際交流
社会連携
福利厚生施設
財政
キャンパス
熊本大学
三好ティニウム
沿革

【本荘北・中・南地区】

■本荘北地区

〒860-8556 熊本市中心区本荘1丁目1番1号
TEL.096(344)2111

- 1 西病棟
- 2 東病棟
- 3 中央診療棟
- 4 外来診療棟
- 5 管理棟
- 6 外来臨床研究棟
- 7 旧管理棟
- 8 山崎記念館【登録有形文化財】
- 9 福利厚生棟
- 10 設備管理棟
- 11 本荘北1(医学部臨床研究棟)
- 12 本荘北2(医学教育図書棟)
- 13 本荘北3(医学総合研究棟)
- 14 本荘北4(基礎医学研究棟)
- 15 本荘北5(臨床医学教育研究センター)
- 16 看護師宿舎
- 17 第一立体駐車場
- 18 第二立体駐車場

■本荘中地区

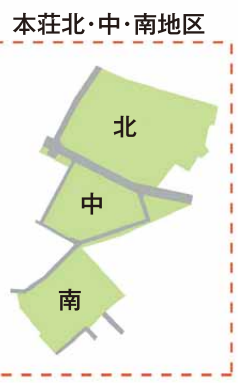
〒860-0811 熊本市中心区本荘2丁目2番1号
TEL.096(344)2111

- 19 本荘中1
(生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設本館)
- 20 本荘中2(エイズ学研究センター、
生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設新館)
- 21 本荘中3(国際先端医学研究拠点施設(IRCMS))
- 22 本荘中4(旧医学部講義棟)
- 23 本荘中5(発生医学研究所)
- 24 本荘中6
(生命資源研究・支援センターRI総合施設、遺伝子実験施設)
- 25 本荘中7(共用棟本荘1)
- 26 本荘中サークル棟1
- 27 本荘中サークル棟2
- 28 本荘中サークル棟3
- 29 肥後医学記念館

■本荘南地区

〒862-0976 熊本市中心区九品寺4丁目24番1号
TEL.096(344)2111

- 30 榊樹会館(福利施設)
- 31 本荘体育館
- 32 本荘南1(医学部保健学科A・B・C棟)
- 33 本荘南2(共用棟本荘2)
- 34 本荘南3(医学部保健学科E棟)
- 35 本荘南サークル棟1
- 36 こばと保育園



【大江地区】

■大江地区

〒862-0973 熊本市中心区大江本町5番1号
TEL.096(344)2111

- 1 大江C1(薬学部本館)
- 2 大江C2(実験研究棟)
- 3 大江C3(大学院実験研究棟)
- 4 大江C4(薬学部講義棟)
- 5 大江C5(育薬フロンティアセンター)
- 6 大江W1(薬学部動物舎)
- 7 大江W2(共同実験棟)
- 8 大江W3(大江地区RI施設)
- 9 大江E1((大江)総合研究棟)
- 10 大江E2(機器分析施設)
- 11 大江E3(薬用資源エコフロンティアセンター(薬用植物園))
- 12 作業場・器材倉
- 13 蕃滋館(福利施設)
- 14 大江体育館
- 15 宮本記念館
- 16 薬学部資料館
- 17 白山町宿舎3棟
- 18 グラウンド
- 19 薬用植物園



8 キャンパス

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

熊本大学
ユニバーシティ・システム
沿革



【京町地区】

■附属小学校・附属中学校 (附属教育実践総合センター)

〒860-0081 熊本中央区京町本丁5番12号
(小学校)TEL.096(356)2492
(中学校)TEL.096(355)0375
(教育実践総合センター)TEL.096(325)3282

- 1 附属小学校管理棟
- 2 附属小学校校舎A棟
- 3 附属小学校校舎B棟
- 4 附属小学校多目的ホール
- 5 附属小学校体育館
- 6 附属小学校グラウンド
- 7 附属小学校プール
- 8 附属中学校校舎
- 9 附属中学校西校舎
- 10 コンピュータ棟
- 11 附属中学校体育館
- 12 附属中学校グラウンド
- 13 附属中学校プール
- 14 附属教育実践総合センター



【城東町地区】

■附属幼稚園

〒860-0846 熊本中央区城東町5番9号
TEL.096(352)3483

- 1 管理棟遊戯室
- 2 保育室 A棟
- 3 保育室 B棟
- 4 運動場
- 5 プール



【大江総合運動場】

■大江総合運動場

〒862-0970 熊本中央区渡鹿4丁目1番1号
TEL.096(372)4241

- 1 合宿研修棟
- 2 部室棟
- 3 管理棟
- 4 弓道場
- 5 野球場
- 6 渡鹿体育館
- 7 アーチエリヤ場
- 8 自動車部練習場



【合津マリンステーション】

■合津マリンステーション

〒861-6102 熊本県上天草市松島町合津6061番
TEL.0969(56)0277

- 1 研究飼育棟
- 2 研究実習棟
- 3 研究宿泊棟



【地域共同ラボラトリー】

■地域共同ラボラトリー

〒861-2202 熊本県上益城郡益城町田原2081の7
TEL.096(286)1212

- 1 地域共同ラボラトリー
- 2 遠心力試験室

9 熊本大学ユニバーシティ・ミュージアム

熊本大学ユニバーシティ・ミュージアム

五高記念館は国の重要文化財に指定され、本学のシンボルとなっています。このほかにも、重要文化財等の赤煉瓦建物群や登録文化財となっている建物、また、他のキャンパスで保存・活用されている施設があり、これらの建物・施設・資料等から成る熊本大学博物館の実現を目指しています。

五高記念館(国指定重要文化財) 《黒髪北地区》

※平成28年熊本地震による被災のため休館中

1887(明治20)年、明治政府は全国を五学区に分け高等中学校を設置しました。九州全域は第五区となり熊本に第五高等中学校が置かれ、1889(明治22)年には赤れんが造りの本館が現在地に完成しました。1894(明治27)年には第五高等学校と名称が改まり、1950(昭和25)年の閉校までこの地に歴史を刻みました。

建物は小泉八雲や夏目漱石が教鞭をとった当時のままの教室棟で、館内には五高の歴史を語る様々な資料を展示しています。

休館日	毎週火曜日、年末年始 (3月～11月は祝日も開館します) (本学の都合上、臨時に休館する場合があります)
開館時間	午前10時～午後4時 (入館は午後3時30分まで)
入館料	無料



▲五高記念館(国指定重要文化財)



▲2007(平成19)年10月10日に行われた開校120周年記念式典の様子



▲復原教室



▲入学試験問題

熊薬ミュージアム(熊薬同窓会館) 《大江地区》

開学100年以上の歴史をもつ薬学部に関する貴重な資料や珍しい実験器具の展示をはじめ、くすりの知識などを紹介する様々なコーナーを設置しています。



▲熊薬ミュージアム(熊薬同窓会館)



▲資料展示室



▲古書



▲調剤器のいろいろ

9 熊本大学ユニバーシティ・ミュージアム

表門(国指定重要文化財) 《黒髪北地区》

通称赤門と呼ばれている五高の表門。本館と同じ時期に建設されました。れんがと石を組み合わせた親柱と袖壁からなり、当初は親柱に表札がかけられていました。門を入るとサインカーブと呼ばれる道が本館まで通じています。



工学部研究資料館(国指定重要文化財) 《黒髪南地区》

※平成28年熊本地震による被災のため休館中

旧熊本高等工業学校の機械実験工場として1908(明治41)年に完成し、大学に引き継がれた際に工学部中央工場と改称し、1970(昭和45)年に新工場ができるまで実験工場として使用されました。また、機械技術に関わる歴史的遺産を次世代に伝えようと2007(平成19)年に設けられた日本機械学会の「機械遺産」に、同年、館内の工作機械群とともに認定されました。

下記の開館日はもちろん、オープンキャンパスや大学祭でも、すべての機械を動かして見学していただいています。

開館日	毎月第3木曜日 午後1時～午後4時
入館料	無料



化学実験場(国指定重要文化財) 《黒髪北地区》

化学の実験棟として本館と同時期に建設されました。内部には階段教室、薬品室、実験室がー列に並んでおり、当時としては最新の化学実験設備「ドラフトチャンバー」を備えています。2014(平成26)年3月に日本化学学会の化学遺産に認定されました。

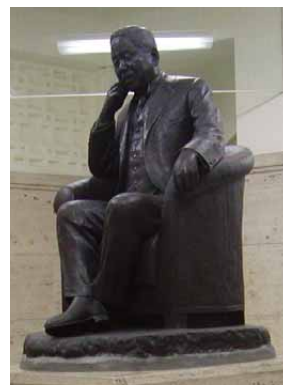


階段教室▶

山崎記念館(登録有形文化財)

《本荘・九品寺地区》

医学部の中興の祖と称えられる山崎正董博士の功績を記念して、1931(昭和6)年に建設されました。内部を一般公開し末永く保存するため、2006(平成18)年、中央診療棟新築の際、建物ごと48メートル移動させました。



▲山崎正董博士像



沿革略年表

S24.	5	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本大学設置 法文学部(法学科、哲学科、史学科、文学科) 教育学部(小学校教員養成課程、中学校教員養成課程) (附属小学校、附属中学校、附属幼稚園) 理学部(数学科、物理学科、化学科、地学科、生物学科) 医学部(医学科)(附属病院、附属厚生女学部) 薬学部(薬剂学科、製薬学科) 工学部(土木建築工学科、採鉱冶金工学科、機械工学科、電気工学科、工業化学科) 体質医学研究所、附属図書館(本館、教育学部分館、医学部分館、薬学部分館、工学部分館) 	<ul style="list-style-type: none"> ・理学研究科修士課程(数学専攻、物理学専攻、化学専攻、地学専攻、生物学専攻)設置 ・医学部附属中毒研究施設設置 ・工学部附属工学研究機器センター設置 ・養護教諭養成所設置 		
S26.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属厚生女学部を廃止し、附属看護学校設置 	S42.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・工学研究科電子工学専攻設置
S27.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属看護学校助産婦養成科設置 	.	6	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部附属養護学校高等部設置
S29.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・理学部附属臨海実験所設置 ・医学部附属看護学校助産婦養成科を廃止し、附属助産婦学校設置 ・薬学専攻科、工学専攻科設置 	S44.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属診療エックス線技師学校を附属診療放射線技師学校に改称 ・工学研究科合成化学専攻設置
S30.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・医学進学課程設置 ・理学専攻科設置 ・医学研究科博士課程(生理系専攻、病理系専攻、社会医学系専攻、内科系専攻、外科系専攻)設置 	S46.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部附属衝撃エネルギー実験所設置
.	7	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部土木工学科、建築学科設置(土木建築工学科を分離) 	S47.	3	<ul style="list-style-type: none"> ・法文学専攻科廃止
S33.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・法文学専攻科設置 	.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・文学研究科修士課程(哲学専攻、史学専攻、国文学専攻、独文学専攻)設置 ・法学研究科修士課程(法律学専攻)設置 ・医学部附属衛生検査技師学校を附属臨床検査技師学校に改称
S34.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部鉱山工学科、金属工学科設置(採鉱冶金工学科を分離) 	S48.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・文学研究科英文学専攻設置 ・特殊教育特別専攻科設置 ・医学部附属免疫医学研究施設設置 ・保健管理センター設置
S35.	3	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部各養成課程の2年課程廃止 	S49.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・薬学部附属薬用植物園設置 ・工学部環境建設工学科設置
.	6	<ul style="list-style-type: none"> ・附属図書館教育学部分館を本館に統合、工学部分館を工学部分室と改称 	S50.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭特別科設置
S36.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部生産機械工学科設置 	S51.	10	<ul style="list-style-type: none"> ・医療技術短期大学部(看護学科、衛生技術学科)設置
S38.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部養護学校教員養成課程設置 ・工学部電子工学科設置 ・教育専攻科設置 	S52.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部養護教諭養成課程設置
S39.	3	<ul style="list-style-type: none"> ・薬学専攻科廃止 	S53.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・工学研究科環境建設工学専攻設置 ・医療技術短期大学部診療放射線技術学科設置
.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属衛生検査技師学校設置 ・薬学研究科修士課程(薬剂学専攻、製薬学専攻)設置 ・教養部設置 	S54.	3	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属看護学校、附属臨床検査技師学校廃止 ・養護教諭養成所廃止
S40.	3	<ul style="list-style-type: none"> ・工学専攻科廃止 	.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・法文学部を改組し、文学部(哲学科、地域科学科、史学科、文学科)及び法学部(法律学科)設置 ・教育学部附属教育工学センター設置 ・医学部附属動物実験施設設置 ・工学部情報工学科設置
.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部附属養護学校設置 ・医学部附属診療エックス線技師学校設置 ・工学部鉱山工学科を資源開発工学科に改組、工学部合成化学科設置 ・工学研究科修士課程(土木工学専攻、建築学専攻、資源開発工学専攻、金属工学専攻、機械工学専攻、生産機械工学専攻、電気工学専攻、工業化学専攻)設置 	S55.	3	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属助産婦学校、附属診療放射線技師学校廃止
S41.	3	<ul style="list-style-type: none"> ・理学専攻科廃止 	.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・医療技術短期大学部専攻科助産学特別専攻設置
.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部特別教科(看護)教員養成課程設置 	S57.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属中毒研究施設及び附属免疫医学研究施設を廃止し、附属免疫医学研究施設設置
			S58.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・文学研究科地域科学専攻設置 ・工学研究科情報工学専攻設置
			S59.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属遺伝医学研究施設設置 ・体質医学研究所廃止
			S60.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・薬学部薬剂学科及び製薬学科を改組し、薬科学科設置 ・薬学研究科医療薬科学専攻(博士課程)設置(薬剂学専攻、製薬学専攻を改組)
			S61.	3	<ul style="list-style-type: none"> ・法文学部廃止

沿革略年表

	・教育専攻科廃止				
	・教育学研究科修士課程(学校教育専攻、障害児教育専攻、教科教育専攻)設置				
	・工学部電気工学科、電子工学科及び情報工学科を電気情報工学科に、工業化学科及び合成化学科を応用化学科に改組				
	・工学研究科生産科学専攻(博士課程)設置				
S62.	・理学研究科環境科学専攻(博士課程)設置				
	・工学部資源開発工学科、金属工学科を材料開発工学科に、機械工学科、生産機械工学科を機械工学科に改組				
	・地域共同研究センター設置				
S63.	・教育学部附属教育工学センターを附属教育実践研究指導センターに改組				
	・工学部土木工学科、建築学科及び環境建設工学科を改組し、土木環境工学科、建築学科設置				
	・自然科学研究科博士課程(生産科学専攻、システム科学専攻、環境科学専攻)設置(理学研究科環境科学専攻(博士課程)及び工学研究科生産科学専攻(博士課程)を振替)				
H 2.	・工学研究科電気工学専攻、電子工学専攻及び情報工学専攻を電気情報工学専攻に、工業化学専攻及び合成化学専攻を応用化学専攻に改組				
	・理学部生物学科を生物学科に改組				
	・総合情報処理センター設置				
H 3.	・工学研究科資源開発工学専攻及び金属工学専攻を材料開発工学専攻に、機械工学専攻及び生産機械工学専攻を機械工学専攻に改組				
	・機器分析センター設置				
H 4.	・医学部附属免疫医学研究施設及び附属遺伝医学研究施設を廃止し、附属遺伝発生医学研究施設設置				
	・医学研究科脳・免疫統合科学系専攻(博士課程)設置				
	・工学研究科土木工学専攻、建築学専攻及び環境建設工学専攻を土木環境工学専攻及び建築学専攻に改組				
H 5.	・理学部地学科を地球科学科に改組				
H 6.	・医学進学課程廃止				
	・理学研究科生物学専攻を生物化学専攻に改組				
	・遺伝子実験施設設置				
	・アイソトープ総合センター設置				
H 7.	・留学生センター設置				
H 8.	・工学部土木環境工学科、建築学科、材料開発工学科、機械工学科、電気情報工学科及び応用化学科を環境システム工学科、知能生産システム工学科、電気システム工学科、数理情報システム工学科及び物質生命化学科に改組				
H 9.	・教養部廃止				
	・文学部哲学科及び史学科を人間科学科及び歴史				
	学科に改組				
	・教育学部生涯スポーツ福祉課程設置				
	・法学部法律学科を法学科及び公共政策学科に改組				
	・理学部数学科、物理学科、化学科、地球科学科及び生物科学科を数理科学科、物理科学科、物質化学科、地球科学科、生物科学科及び環境理学科に改組				
	・理学研究科地学専攻を地球科学専攻に改組				
	・エイズ学研究センター設置				
	・大学教育研究センター(学内措置)設置				
H10.	・理学研究科修士課程を廃止	3			
	・工学研究科修士課程を廃止				
	・附属図書館工学部分室を廃止				
	・薬学研究科博士課程に臨床薬学専攻を設置、医療薬科学専攻を薬科学専攻に改組		4		
	・自然科学研究科に博士前期課程として物質科学専攻、材料システム専攻、機械システム専攻、数理科学・情報システム専攻、電気システム専攻、自然システム専攻、環境土木工学専攻、建築学専攻を設置し、博士後期課程として物質・生命科学専攻を設置				
	・医学部附属遺伝発生医学研究施設トランスジェニック実験室及び医学部附属動物実験施設を廃止し、動物資源開発研究センター設置				
H11.	・自然科学研究科博士後期課程生産科学専攻及びシステム科学専攻を生産システム科学専攻及びシステム情報科学専攻に改組	4			
	・工学部附属衝撃エネルギー実験所及び理学部極低温装置室を整備統合し、衝撃・極限環境研究センターを設置				
	・環境保全センター(学内措置)設置				
H12.	・教育学部地域共生社会課程設置	4			
	・医学部附属遺伝発生医学研究施設を廃止し、発生医学研究センター設置				
	・教育学研究科養護教育専攻設置				
	・自然科学研究科博士後期課程環境科学専攻を環境共生科学専攻に改組				
H13.	・文学研究科哲学専攻、地域科学専攻、史学専攻、国文学専攻、英文学専攻及び独文学専攻を人間科学専攻、地域科学専攻、歴史学専攻及び言語文学専攻に改組	4			
	・法学研究科法律学専攻を法学専攻及び公共政策専攻に改組				
	・薬学研究科分子機能薬学専攻(博士課程)設置				
	・生涯学習教育研究センター設置				
	・沿岸域環境科学教育研究センター設置(理学部附属臨海実験所の転換)				
	・教育学部附属教育実践研究指導センターを附属教育実践総合センターに改組				
	・環境保全センター(学内措置)を環境安全セン				

沿革略年表

		ター(学内措置)に改称 ・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー設置 ・情報プラザ設置			改組 ・自然科学研究科博士前期課程(物質科学専攻、材料システム専攻、機械システム専攻、数理科学・情報システム専攻、電気システム専攻、自然システム専攻、環境土木工学専攻、建築学専攻)及び自然科学研究科博士後期課程(生産システム科学専攻、システム情報科学専攻、環境共生科学専攻、物質・生命科学専攻)を自然科学研究科博士前期課程(理学専攻、複合新領域科学専攻、物質生命化学専攻、マテリアル工学専攻、機械システム工学専攻、情報電気電子工学専攻、社会環境工学専攻、建築学専攻)及び自然科学研究科博士後期課程(理学専攻、複合新領域科学専攻、産業創造工学専攻、情報電気電子工学専攻、環境共生工学専攻)に改組	
H14.	4	・医学研究科修士課程(医科学専攻)設置 ・社会文化科学研究科博士課程(文化学専攻、公共社会政策学専攻)設置 ・総合情報処理センターを総合情報基盤センターに改組			・自然科学研究科博士前期課程(物質科学専攻、材料システム専攻、機械システム専攻、数理科学・情報システム専攻、電気システム専攻、自然システム専攻、環境土木工学専攻、建築学専攻)及び自然科学研究科博士後期課程(生産システム科学専攻、システム情報科学専攻、環境共生科学専攻、物質・生命科学専攻)を自然科学研究科博士前期課程(理学専攻、複合新領域科学専攻、物質生命化学専攻、マテリアル工学専攻、機械システム工学専攻、情報電気電子工学専攻、社会環境工学専攻、建築学専攻)及び自然科学研究科博士後期課程(理学専攻、複合新領域科学専攻、産業創造工学専攻、情報電気電子工学専攻、環境共生工学専攻)に改組	
	. 10	・インキュベーション施設設置			・薬学部附属創薬研究センター設置 ・社会文化科学研究科修士課程(教授システム学専攻)設置 ・環境安全センターを学内共同教育研究施設として改組	
H15.	4	・医学薬学研究部設置 ・医学研究科修士課程、博士課程を廃止し、医学教育部修士課程(医科学専攻)、医学教育部博士課程(生体医科学専攻、病態制御学専攻、臨床医科学専攻、環境社会医学専攻)設置 ・薬学研究科博士課程を廃止し、薬学教育部博士課程(分子機能薬学専攻、生命薬科学専攻)設置 ・薬学部附属薬用植物園を廃止し、薬学教育部附属薬用植物園設置 ・機器分析センター、遺伝子実験施設、アイソトープ総合センター、動物資源開発研究センターを廃止し、生命資源研究・支援センター設置 ・大学教育機能開発総合研究センター設置 ・大学教育研究センター(学内措置)を廃止し、教養教育実施機構(学内措置)設置		. 9	・法曹養成研究科附属臨床法学教育研究センター設置	
	. 10	・教育学部特別教科(看護)教員養成課程、医療技術短期大学部を改組し、医学部保健学科設置		. 12	・五高記念館設置	
H16.	4	・設置者が国から国立大学法人へ変更 ・法学部法学科及び公共政策学科を法学科に改組 ・理学部数理科学科、物理科学科、物質化学科、地球科学科、生物科学科、環境理学科を理学科に改組 ・法学研究科法学専攻及び公共政策専攻を法学公共政策学専攻に改組 ・法曹養成研究科設置 ・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーをベンチャー・ビジネス・ラボラトリーに改称 ・保健管理センターを保健センターに改称		H19.	3	・医療技術短期大学部廃止
	. 10	・教育学部特別教科(看護)教員養成課程、医療技術短期大学部を改組し、医学部保健学科設置		. 4	・大学院先導機構設置 ・生涯学習教育研究センター、政策創造研究センターを廃止し、政策創造研究教育センター設置 ・eラーニング推進機構設置 ・教育学部附属養護学校を教育学部附属特別支援学校に改称 ・教育学部養護学校教員養成課程を教育学部特別支援学校教員養成課程に改称 ・自然科学研究科附属総合科学技術共同教育センター設置	
H17.	4	・政策創造研究センター設置 ・文学部人間科学科、地域科学科、歴史学科、文学科を総合人間学科、歴史学科、文学科、コミュニケーション情報学科に改組 ・工学部附属ものづくり創造融合工学教育センター設置		. 10	・バイオエレクトロニクス研究センター設置	
H18.	4	・工学部環境システム工学科、知能生産システム工学科、電気システム工学科、数理情報システム工学科、物質生命化学科を社会環境工学科、建築学科、マテリアル工学科、機械システム工学科、情報電気電子工学科、数理工学科、物質生命化学科に改組 ・薬学部薬科学科を薬学科、創薬・生命薬科学科に		H20.	4	・地域共同研究センター、知的財産創生推進本部、インキュベーション施設、ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーを発展的に再編し、イノベーション推進機構設置 ・文学研究科(修士課程)人間科学専攻、地域科学専攻、歴史学専攻、言語文学専攻、法学研究科(修士課程)法学公共政策学専攻及び社会文化科学研究科(修士課程)教授システム学専攻を社会文化科学研究科(博士課程前期)公共政策学専攻、法学専攻、現代社会人間学専攻、文化学専攻、教授システム学専攻に改組 ・社会文化科学研究科(博士課程)文化学専攻、公共社会政策学専攻を社会文化科学研究科(博士後期課程)人間・社会科学専攻、文化学専攻、教授システム学専攻に改組

創造する森 挑戦する火



井上雄彦記す



国立大学法人 熊本大学

〒860-8555

熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1

TEL.096-344-2111 (代表)

<http://www.kumamoto-u.ac.jp>

平成28年7月発行

「創造する森 挑戦する炎」には、本学が熊本の地で長年培ってきた3つの特質

- 地域に身近で世界とつながる、機動力あふれる総合大学
- 実践的課題解決力を持ち粘り強く取り組む、パワーリーダーの育成と輩出
- 歴史や環境を活かして社会が求めるイノベーションを創出する、知的専門家集団

をわかりやすく伝えたい、そして今後も守り育てていきたいという想いが込められています。

揮毫は、かつて本学に在籍された漫画家・井上雄彦氏にお願いしました。